

ニ登記シ收受番號及月日ヲ記入シ直ニ主掌分課ニ配付シ取扱者ノ證印ヲ徵スヘシ

二分課以上ニ關係アル文書ハ其ノ重キニ從ヒ配付スヘシ

親展書ハ封緘ノ儘宛名ニ配付スヘシ

但シ生徒宛ノモノハ總テ生徒課ニ配付スヘシ

第二條 左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セス主掌分課ニ於テ接受スヘシ

一、教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類及教官ノ缺勤届書

二、生徒ヨリ差出ス願届書類

三、入學志願者受験名票

四、其ノ他學校ノ指定シタル書類

第三條 配付ヲ受ケタル文書ハ主掌分課ニ於テ「件名簿」ニ登記シ速ニ之ヲ調査シ處分

案ヲ具シ課長ヲ經テ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

但シ二分課以上ニ互ルモノハ豫メ其ノ合議ヲ遂クヘシ

事件ノ性質上直ニ處分案ヲ提出スル能ハサル者若クハ處分ヲ要セスト認ムルトキハ配付

文書ヲ課長ヲ經テ學校長ノ關覽ニ供シ指揮ヲ受クヘシ

第四條 左ノ文書ハ主掌課長限リ處分スヘシ

一、生徒在學證明ニ關シ徵兵事務ニ關係ナキモノ

二、生徒ノ學業成績證明ニ關スルモノ

三、生徒ノ宿所入寮退寮及諸届出ニ關スルモノ

四、物品ノ支給ニ關スルモノ

五、一定ノ例規ニ依ルモノ

第五條 文書ハ總テ主掌分課ニ於テ發案シ順次上司ノ供閱ヲ受クヘシ

二分課以上アル者ハ他ノ課ニ合議スヘシ

第六條 決裁済ノ文書ハ主掌分掌ニ於テ決濟年月日ヲ記入シ速ニ處理ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 發送ヲ要スル文書ハ件名簿ニ登記シ淨書ト共ニ執務時間内ニ庶務課ニ回付シ件

名簿發送濟欄ニ證印ヲ徵スヘシ

至急ヲ要スル文書ニシテ執務時間外ニ發送ヲ要スルモノハ當直員ニ回付シ前同様ノ手續

了スヘシ

第八條 庶務課ニ於テ發送文書ヲ受理シタルトキハ之ニ校長印又ハ學校印ヲ押捺シテ直

ニ發送ヲナスヘシ

但シ輕易ナル事件ニ付テハ主掌分課印ヲ用フルコトヲ得

第九條 庶務課ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ郵便電信發送簿ニ登記シ證印ヲナス

ヘシ

第二章 保存

第十條 事件完結シタル文書ハ各主掌分課ニ於テ整理編纂シ之ヲ保存スヘシ

第十一條 文書編纂ノ種類及其ノ保存期間ハ別ニ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ經伺

ノ上之ヲ改廢シ若クハ別ニ種類ヲ設クルコトヲ得

第十二條 文書ハ左ノ各號ニ依リ編纂スハシテ

一、事件完結ノ順序ニ依リ曆年(會計ニ關スルモノハ會計年度)ヲ以テ分界トス但シ紙數
ノ多寡ニ依リ一ヶ年分ヲ便宜分綴シ又ハ數年分ヲ合綴スルコトヲ得

二、卷首ニ件名及索引丁數ヲ掲記シタル目錄ヲ附シ其ノ表紙ニ名稱年若クハ年度保存期
間及主掌課係名ヲ記載シ數冊ニ分綴セシモノハ數字ノ符號ヲ附シ尙檢索ヲ容易ナラ

シムル爲前部切斷面ニ名稱若クハ年度保存期間ヲ標記スルコト但シ保存期間三年ニ
屬スル文書ニハ目錄ヲ附セサルコトヲ

三、圖表類ニシテ合綴シ難キモノハ袋又ハ宮ニ納メテ名稱ヲ標記シ其ノ所在ヲ目錄ニ附
記スルコト

第十三條 前條ニ依リ編纂シタル文書ハ文書臺帳(別紙様式)ニ登録シテ之ヲ一定ノ場所ニ

藏置スヘシ

第十四條 保存期間ハ文書完結ノ翌年ヨリ起算ス但シ會計年度ニ屬スルモノハ翌年度ヨリ

起算スヘシ

第十五條 保存期間ヲ了リ若クハ未タ了ラサルモ保屬ノ必要ナシト認メタル文書ハ經伺ノ

上之ヲ會計課ニ引繼クヘシ但シ一般ノ披閱ヲ避クヘキ文書ハ引繼前經伺ノ上相當ノ措置

ヲ爲スヘシ

第七條 臨時所要ノ物品ハ各課係又ハ特別教室首席者ノ請求ニ依リ物品會計官吏ニ於テ其都度學校長ノ決裁ヲ受ケ購入ノ手續ヲナシ之ヲ支給スヘシ

第八條 生産及寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ見積價格ヲ付シ學校長ノ決裁ヲ經テ受人ノ手續ヲナシタル後藏置若クハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第九條 物品會計官吏其ノ受入レタル物品ヲ支給セムトスルトキハ備品ニアリテハ番號札ヲ現品ニ付シ備品支給簿ニ登記ヲ了シ且ツ所定ノ欄ニ領收印ヲ徴シタル後之ヲ物品監守者ニ交付スヘシ

消耗品ニアリテハ物品出納簿ニ拂出ノ登記ヲ了シ且ツ所定ノ物品請求用紙ニ領收印ヲ徴シタル後之ヲ物品取扱主任ニ交付スヘシ

第十條 各課係又ハ特別教室ニ於テ所要ノ物品アルトキハ所定ノ物品請求用紙ニ品目數量所用ノ事由等ヲ記入シ各首席者ノ名義ヲ以テ物品會計官吏ニ請求スヘシ

第十一條 學術上機械ノ製作及修理ニ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ撰擇スル必要アルモノハ當該教室主任ニ於テ圖面及仕様書又ハ當業者ノ見積書ヲ徴シ(外國製品等ニシ

テ見積ヲ徴スル能ハサルトキハ調書ヲ添付)物品會計官吏ニ請求スヘシ

第十二條 物品監守者ハ備品監守簿ヲ物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ設ケ物品ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ都度之ヲ登記シ備品ニアリテハ其ノ備付場所ヲ監守簿ニ記載シ常ニ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニアリテハ職員各自ノ請求ニ應シテ之ヲ支給シ帳簿ノ當該欄ニ領收印ヲ徴スヘシ

第十三條 各課係又ハ特別教室ニ於テ不用ニ歸シタル物品アルトキハ物品監守者又ハ物品取扱主任ハ所定ノ物品返付書ニ品名番號及數量等ヲ記入シ之ヲ監守簿又ハ受拂簿ニ添ヘ

現品ト共ニ物品會計官吏ニ提出シ監守簿又ハ受拂簿ニ受領ノ證印ヲ受クヘシ

第十四條 物品會計官吏物品ノ返付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ將來使用ノ見込アルトキハ保管ノ手續ヲナシ使用ノ見込ナシト認メタルモノハ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ請求スヘシ

第十五條 各課係又ハ特別教室ニ於テ物品ノ修理ヲ要スルモノアルトキハ直ニ現品ヲ物品會計官吏ニ提示シ修理ノ請求ヲナスヘシ

細則

第十六條 各課係又ハ特別教室ニ於テ物品ヲ毀損シ又ハ紛失シタルトキハ監守者又ハ取扱

主任其品名數量及番號等ヲ調査シ顛末ヲ具シ物品會計官吏ニ報告スヘシ

第十七條 物品會計官吏前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ始末書ヲ徴シ處分案ヲ具シテ學校長

ノ決裁ヲ請フヘシ

第十八條 物品監守者又ハ物品取扱主任交迭シタルトキハ前主任者及後主任者ニ於テ物品

會計官吏立會ノ上監守簿ト現品トヲ對照シ其ノ引繼ヲナシタル年月日ヲ帳簿ノ餘白ニ記

入シ且ツ各自ニ記名捺印スヘシ

第十九條 甲乙監守者間ニ於テ其ノ保管物品ノ受渡ヲ必要トスルトキハ其ノ旨物品會計官

吏ニ通告ノ上之カ受渡ヲナスヘシ

第二十條 共用中ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ左ノ各號ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一、各課係又ハ特別教室ノ消耗品受拂簿ヲ毎月一回消耗品出納簿ニ照査スルコト

二、毎年一回物品出納簿、備品支給簿、備品監守簿及消耗品受拂簿ニヨリ各課係又ハ教

室ニ就キ現品ヲ査閲シ學校長ニ報告スルコト

第三、前號ノ調査ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ關シ意見ア

ルトキハ學校長ニ申告シ其ノ處理ヲ求ムルコト

第二章 檢 閱

第二十一條 物品檢閱ヲ分チテ定期臨時ノ二トス

定期檢閱ハ毎年六月之ヲ施行シ臨時檢閱ハ臨時必要ノ場合ニ之ヲ施行ス

第二十二條 物品檢閱委員ハ委員長一名委員若干名トシ學校職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

委員長及委員ノ任期ハ一箇年トス

第二十三條 物品檢閱委員ノ檢査スヘキ事項左ノ如シ

一、物品保管ノ適否

二、物品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否

四、物品缺損ノ有無

五、其ノ他必要ナル事項

第二十四條 物品檢閲ノ際ハ在庫物品ニ就テハ物品會計官吏使用中ノ物品ニ就テハ物品監守者又ハ物品取扱主任其ノ席ニ列シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘシ

第二十五條 物品檢閲委員ニ於テ檢査上故障ナシト認メタルトキハ簿冊ニ檢印シテ之ヲ證スヘシ若シ故障アルトキハ當該責任者ヨリ始末書ヲ徵スルコトヲ得

第二十六條 物品檢閲委員其ノ檢査ヲ了シタルトキハ檢査ノ顛末書ニ意見ヲ具シ委員長ヲ經テ學校長ニ申告スヘシ

第三章 諸帳簿

第二十七條 物品會計官吏ハ物品ノ保管出納ヲ明確ニスル爲左ノ帳簿ヲ設クヘシ

- 一、備品出納簿 (第一號様式)
- 二、圖書受入原簿 (第二號様式)
- 一、消耗品出納簿 (第三號様式)
- 一、備品支給簿 (第四號様式)

第二十八條 各監守者又ハ物品取扱主任ハ物品ノ保管出納ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ

設クヘシ

- 一、備品監守簿 (第五號様式)
- 二、消耗品受拂簿 (第六號様式)
- 一、郵便切手受拂簿 (第七號様式)

一三、圖書取扱規程

第一條 本校所有ノ圖書ハ總テ圖書課ニ於テ之ヲ藏置ス

第二條 本校所有ノ圖書ハ擔當事務員ノ外出納ヲナスコトヲ得ス

第三條 圖書課ニ於テハ本校所藏ノモノ、外他ノ委托ニ係ル圖書ヲ保管スルコトアルヘシ

第四條 教務及事務上必要ノ圖書ハ學科主任又ハ各課長各課主任ニ於テ之ヲ借受ケ特別

ノ場所ニ備ヘ置クコトヲ得

第五條 教官ハ一員二十冊事務員ハ一員五冊ヲ限リ圖書借用ヲスルコトヲ得但シ和漢裝

第六條 貴重圖書又は閲覧室備付ニ缺クヘカラサル圖書類及辭書ハ貸出ヲ拒ムコトアル

第七條 職員ハ係員ヘ通知ノ上書庫ニ於テ圖書ヲ檢索スルコトヲ得

第八條 圖書ヲ借用セムトスルモノハ所定ノ手續ヲナスヘシ

第九條 借用シタル圖書ハ毎年一國九月一日ヨリ十日迄ニ悉皆返納スヘシ但シ必要アルトキハ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第十條 圖書閲覧室ハ左ノ期日ニ於テ之ヲ閉ツ但シ必要ノ場合ニハ學校長ノ許可ヲ經テ臨時閉鎖スルコトアルヘシ

- 一、日曜日
- 二、大祭祝日
- 三、八月一日ヨリ八月卅一日迄
- 四、十二月廿五日ヨリ一月七日迄

五、創立記念日

圖書閲覧室開閉ノ時限ハ隨時之ヲ告示ス

第十一條 圖書閲覧室ニ入ルコトヲ得ルモノハ本校職員、生徒及特ニ學校長ノ許可ヲ得タルモノトス

第十二條 生徒圖書閲覧票ハ生徒入學ノ際特許閲覧票ハ隨時之レヲ交付ス

第十三條 生徒閲覧票及特許閲覧票ハ他ニ之ヲ轉貸スルコトヲ得ス之ヲ遺失シタル時ハ直ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第十四條 圖書ヲ閲覧セムトスルモノハ圖書閲覧請求用紙ニ所定事項ヲ記入シ閲覧票ト共ニ係員ヘ差出スヘシ

第十五條 生徒一人ニテ一時ニ閲覧シ得ヘキ圖書數ハ係員ニ於テ制限スルコトアルヘシ

第十六條 生徒ニシテ圖書帶出ノ必要ヲ認ムルトキハ圖書課長及當該圖書所屬ノ學科教授等ヲ經テ願出ツルコトヲ得

第十七條 特別教室備付ノ圖書ヲ閲覧セムトスル者ハ當該學科主任ノ許可ヲ得テ閲覧スル

第十八條 閱覽者ハ圖書ヲ閱覽室外ニ携出スヘカラス又圖書ヲ他人ヘ轉貸スヘカラス

第十九條 閱覽室ニ於テハ左ノ事項ヲ嚴守スヘシ

一、喫煙、香讀、談話、飲食等總テ他人ノ妨害トナルヘキ行爲アルヘカラス

二、制服又ハ袴ヲ着用スヘシ

三、卓子、腰掛其他備付器具ノ位置ヲ變更又ハ汚損スヘカラス

第二十條 前二條ノ規定ニ違背シ其ノ他不都合ノ行爲アリタル者ハ一定ノ期間閱覽ヲ禁止

スルコトアルヘシ

第二十一條 總テ借覽ノ圖書ハ鄭重ニ取扱フヘシ若シ紛失毀損又ハ汚染シタルトキハ之ヲ

辨償セシメ又ハ修理ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

一四、非常警備ニ關スル規程

第一條 校內若クハ近傍ニ於テ火災其ノ他非常ノ事變アリタル時ハ職員及生徒ハ直ニ

付ケ左ノ任務ニ從事スヘシ

一、報 知

學校長、警察署、各課主任、生徒監、寄宿寮及學校附近所在ノ職員ヘ電話又ハ他ノ方

法ヲ以テ直ニ通報スヘシ

二、消 防

消防器、消火栓、唧筒其ノ他適當ノ方法ニ依ルヘシ

三、運 搬

各室内非常持退ノ印アルモノ圖書、機械、標本其ノ他ノ器具

四、警 備

門及其他ノ要所ニ高張提灯ヲ掲クルコト

職員及生徒ハ應援者ノ外妄ニ構内ニ入ラシメサルコト

搬出品ヲ監守スルコト

第二一條 非常用トシテ左ノ器具ヲ備付ケ且ツ其ノ所在及使用方法等ヲ一般ニ周知セシム

前項ノ器具ハ會計課ニ於テ時々検査スヘシニ對スルハ

第十二、消火器

三、唧筒及水管

四、高張提灯

五、用心桶

前項ノ器具ハ會計課ニ於テ時々検査スヘシニ對スルハ

第三條 本校職員ノ住宅等火災ノ節又ハ其ノ虞アルトキハ本校生徒ヲシテ臨時應援セシ

第四條 煙突ハ每週所定ノ回數之ヲ掃除シ電燈線及瓦斯栓ニ異狀ヲ發見シタルトキハ直

ニ絶縁器ヲ外シ其ノ旨各會社ニ急報スヘシ

第五條 火鉢、暖爐等使用中ハ特ニ注意シ終業退廳後又ハ使用後ハ直ニ火氣及火爐ヲ取

除カシメ一定ノ場所ニ於テ之レカ處理ヲナスヘシ

一五、當直規程

第一條 當直ハ庶務當直及寮務當直ノ二トス

第二條 庶務當直ハ書記以下輪番ヲ以テ之ニ服シ寮務當直ハ生徒課勤務ノ職員輪番ヲ以

テ之ニ服ス

第三條 第二條以外ノ當直ヲ必要ト認ムル場合ニハ學校長ハ特ニ之ヲ命ス

第四條 當直ノ時限左ノ如シ

一、平日ハ退廳時刻ヨリ翌日出勤時刻迄

二、休日ハ平日ノ出勤時刻ヨリ翌日出勤時刻迄

第五條 當直員ハ勤務中學校ヲ離ル、コトヲ得ス

第六條 當直員ハ其ノ勤務中取扱ヒタル事件ヲ當直日誌ニ認メ翌日庶務課長或ハ生徒課

長ニ申告スヘク翌日若シ休日ナルトキハ交代ノ者ニ必ス事務ノ引繼ヲナシテ退出スヘシ

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ當直ヲ免ス

一、出張ノ前日及歸校ノ翌日

二、病氣缺勤中

三、賜暇ノ當日

四、忌引中

五、新任ノ場合ニ在リテハ着任ノ日ヨリ起算シ六日目迄

六、以上ノ外學校長ニ於テ除直スヘキ必要アリト認めタルトキ

第八條 當直員ハ止ムヲ得サル事故ノ爲當日勤務ニ差支アルトキハ庶務課長或ハ生徒課長ノ許可ヲ得テ同僚ヲ以テ代直ヲ立ツルコトヲ得

第九條 庶務當直員ハ當直ノ際庶務課ヨリ左ノ物件ヲ受取ルヘシ

一、當直日誌

二、諸室鎖鑰

三、職員住所簿

四、電信用符號簿

五、當直用郵便切手及發送簿

第十條 庶務當直勤務ノ主要事項概ネ左ノ如シ

一、第九條ノ物件保管ヲナスコト

二、校丁ヲ監督シ校舍内外ノ取締ヲナスコト

三、接受シタル物件ヲ處理スルコト

四、烈風及變時ニハ特ニ注意シ校舍内外ヲ巡視シ火氣其ノ他火災ノ虞アル器物ノ取締ヲナスコト

第十一條 寮務當直員ハ寄宿寮ノ管理及取締ニ任シ寮内一切ノ事務ヲ處理スヘシ

第十二條 當直中接受シタル物件ハ左ノ取扱ヲナスヘシ

一、親展公文書並ニ職員宛私文書其ノ他ノ物件ハ翌日夫々之ヲ回付シ電報其ノ他急速ヲ要スト認めムヘキモノハ直ニ宛名ノ者ニ發送ヘヘシ

職員

物理 (休職中)

法制經濟

獨語

西洋史 (在外研究中)

國語

化學

日本史、東洋史

心理

英語

物理

英語

獨語

獨語

二〇八

理學士

小林

惇福鳴

法學士

芳賀武雄

青森

文學士

堀内尚同

靜岡

文學士

渡邊

鼎石川

理學士

三浦圭三

兵庫

文學士

菊池末太郎

青森

文學士

布施

俊島根

文學士

西川德道

東京

文學士

長谷川誠治

愛知

理學士

小山民造

兵庫

文學士

黑田正利

岡山

文學士

國枝俊文

岐阜

(別冊三平式員)

西郷

啓造 神奈川

圖書 (用器書)

數學

修身、哲學

數學

修身

物理、自然科學 (物理化學)

動物、植物、自然科學

獨語

體操

圖書部員

工學士

吉峰

弘造 京都

理學士

手塚

昇市 栃木

文學士

柳田謙十郎

神奈川

理學士

吉村英太

北海道

文學士

宮城敏夫

京都

理學士

若桑光雄

福岡

理學士

根岸浩

埼玉

文學士

澁谷武藏

神奈川

配屬將校

步兵第五聯隊附陸軍步兵中佐

野中直一 山口

備外國人教師

(就職順)

オト・ト・ト・ナク 獨國

職員

二〇九

職員

英語

講義員

(就職順)

エー・ビー・ロシター 英國

二一〇

體操

陸軍歩兵特務曹長

黒瀧 俊一 青森

體操

陸軍歩兵特務曹長

澤田石三太郎 秋田

體操

陸軍歩兵特務曹長

齋藤角太郎 青森

圖書(自在書)科

青森縣立弘前高等女學校教諭

相馬治四郎 山形

柔道(自然科)科

永澤 誠藏 北海道

漢文

文學士

森 茂山 山形

英語

文學士

伊藤 政市 長野

劍道(科)

文學士

中西 俊爾 石川

法制、經濟

法學士

相業 繁三 三重

體操(田器)

陸軍歩兵大尉

工學士

高島 長政 秋田

西洋史

文學士

竹村 越三 石川

書記

物品會計官吏

榊原 長禎 新潟

小山内 浩 青森

宮澤 抱策 宮城

葛西不二男 青森

吉井 忠造 鹿兒島

齋藤 木良一 青森

鳳至 武智夫 青森

葛西 孝之助 青森

助手

(就職順)

職員

二一一

職員

二二二

笹森隆三 青森

對馬武雄 青森

桂至五二郎 青森

高橋一智 青森

佐々木清吉 青森

福士正雄 青森

高畑不二浩 秋田

佐藤内信 敬青森

天木順吉 愛知

弓道
囑託
學校醫

市立弘前病院員
醫學博士

學級主任

文科 第三學年第一學級

教授 堀内尚同

文科 第三學年第二學級

教授 柳田謙十郎

文科 第三學年第三學級

教授 芳賀武雄

理科 第三學年第一學級

教授 菊池末太郎

理科 第三學年第二學級

教授 若桑光雄

文科 第二學年第一學級

教授 彌富破摩雄

文科 第二學年第二學級

講師 森茂

文科 第二學年第三學級

教授 西德道

理科 第二學年第一學級

教授 手塚昇市

理科 第二學年第二學級

教授 小山民造

文科 第一學年第一學級

講師 伊藤政市

文科 第一學年第二學級

教授 久野真吉

文科 第一學年第三學級

教授 成田衡夫

職員

二二三

職員

理科 第一學年第一學級

理科 第一學年第二學級

學科主任

修身、哲學概說、心理及論理

國語

漢文

英語

獨語

歷史

法制及經濟

數學

物理

二四

教授 吉峰 弘造

教授 吉村 英太

教授 西 德道

教授 彌富 破摩雄

教授 成田 衡夫

教授 名須川 良

教授 安齋 宏索

教授 布施 俊

教授 芳賀 武雄

教授 吉村 英太

教授 小山 民造

化學

植物及動物

地質、礦物及地理

圖畫

體操

教授 菊池 末太郎

教授 根岸 浩

教授 小岩 井兼輝

教授 吉峰 弘造

配屬將校 野中 直一

○事務長

職員

二五

職員

○事務分課

教務課

主任

動物及植物學科助手

化學科助手

物理學科助手

生徒課

主任

生徒監

二二六

書記 宮澤抱策

助手 鳳至武智夫

雇 葛西孝之助

雇 桂二郎

雇 高橋一智

雇 福士正雄

教授 安齋宏索

講師 森茂

○生徒及卒業生

圖書課

主任

講師 黒瀧俊一

講師 澤田石三太郎

講師 齋藤角太郎

講師 高島長政

雇 高畑浩

教授 黒田正利

書記 吉井忠造

雇 笹森内隆三

雇 佐々木清吉

庶務課

主任

講師 相葉繁

二二七

會計課

書記 葛西不二男

主任

書記 榑原木長禎

書記 小山内浩

(兼) 書記 吉井忠造

書記 齋藤良一

書記 對馬武雄

○生徒及卒業生

(昭和三年四月現在)

一、生徒氏名

(五十音順)

(氏名ノ上段ハ出身學校ノ下段ハ本籍府縣名)

文科第三學年第一學級 (三十七名)

- | | | |
|-------------------|-----------------|-------------------|
| 新發田 市島 良二 (新潟) | 明治 家永 英吉 (東京) | 函館 内山 武兵衛 (北海道) |
| 東京府 第七 櫻間 清策 (東京) | 弘前 海老名 正吾 (青森) | 弘前 小田 切 潔 (青森) |
| 盛岡 小原 洋 (岩手) | 攻玉社 小原 照一 (岐阜) | 盛岡 小田 島 敏雄 (岩手) |
| 函館 大島 政夫 (北海道) | 函館 大塚 美知雄 (北海道) | 室蘭 太田 稔 (東京) |
| 磐城 岡田 昇 (福島) | 弘前 川崎 邦夫 (青森) | 開成 子安 武雄 (千葉) |
| 福岡 近藤 重三郎 (岩手) | 弘前 齋藤 武博 (青森) | 宇都宮 齋藤 壬夫 (栃木) |
| 弘前 佐藤 俊夫 (青森) | 柏壁 阪口 俊次 (埼玉) | 東京 重倉 珉祐 (長野) |
| 弘前 白取 貞次郎 (青森) | 宇和嶋 上甲 良雄 (愛媛) | 弘前 七戸 四郎 (青森) |
| 城東 關 徹 (和歌山) | 弘前 高木 直四郎 (青森) | 東京府 第五 高野 一郎 (東京) |

生徒及卒業生

東京府 第五 高木 喜一 (三重) 大館 高谷 愛次郎 (秋田) 粉河 田中 四郎 (和歌山)
 會津 林 薰 (福島) 金澤 第一前川 次吉 (石川) 八戸 松尾 政喜 (青森)
 弘前 宮川 儀逸 (青森) 野澤 諸 澤 肅 (長野) 秋田 工 渡邊 政之助 (秋田)
 水戸 渡邊 肇 (茨城)

文科第三學年第二學級 (三十五名)

澁川 荒木 久彌 (群馬) 青森 淺野 豊秀 (新潟) 横手 伊藤 勝雄 (秋田)
 青森 小野 隆祥 (青森) 青森 岡野 多喜夫 (青森) 金澤 第一 大西 直樹 (石川)
 磐城 清見 重次 (富山) 青森 工藤 金章 (青森) 弘前 工藤 九郎 (青森)
 鐵路 日下部 軍治 (北海道) 早稲田 小林 三郎 (東京) 青森 佐藤 一夫 (青森)
 秋田 佐々木 亨 (秋田) 會津 更科 正夫 (福島) 開成 阪田 貞俊 (東京)
 横手 神 丸 師 (青森) 東京府 第四 鈴木 輝久 (茨城) 日本 鈴木 龍三 (千葉)
 山形 菅原 民夫 (山形) 弘前 高谷 剛之助 (青森) 明治學 院附 高野 道長 (群馬)
 水戸 高瀬 待郎 (群馬) 八戸 田中 巖 (青森) 粉河 田中 好直 (和歌山)

東奥義塾行 方 薰 (青森) 京北 成田 榮固 (東京) 野澤 中村 榮次 (長野)
 鶴岡 服部 泰雄 (山形) 宇都宮 萩庭 龜一郎 (茨城) 旭川 平岡 敏雄 (北海道)
 村上 細野 哲夫 (新潟) 村上 細野 昌夫 (新潟) 盛岡 三 鬼 實 (福島)
 早稲田 山内 柁一 (青森) 盛岡 萬 次郎 (岩手)

文科第三學年第三學級 (三十三名)

第二關山 新井 正義 (埼玉) 土浦 阿久津 守男 (茨城) 東京 飯塚 英助 (秋田)
 龍ヶ崎 飯島 修 (茨城) 麻布 飯久保 貞雄 (埼玉) 一關 岩淵 陸三 (岩手)
 東京府 第一 石原 家忠 (東京) 札幌 磯田 榮八 (北海道) 弘前 瓜田 稜威雄 (青森)
 龍ヶ崎 海老原 治三郎 (茨城) 大垣 小笠原 慈瑛 (岐阜) 青森 葛西 政正 (青森)
 日川 風間 誠三郎 (山梨) 郁文館 金 井 勇 (東京) 富岡 紅露 皓一 (徳島)
 土浦 櫻井 新次郎 (茨城) 野澤 鹽川 甚之助 (長野) 佐原 須田 禎一 (茨城)
 水戸 鈴木 正義 (茨城) 正則 高野 忠雄 (東京) 青森 瀧野 澤 榮一 (青森)
 京都第三 多 田 勝 (京都) 大田原 永 井 孝 (栃木) 千葉 永妻 紀悦 (千葉)

水戸 額賀 誠 (茨城) 釧路 波多野 二郎 (北海道) 函館 馬場 勲 (北海道)
 赤坂 福川 宅一 (愛媛) 早稻田 堀 光夫 (愛知) 都文館 蓬澤 武夫 (東京)
 弘前 松尾 義明 (青森) 麻布 村居 伍市 (東京)
 野澤 依田 清 (長野)

理科第三學年第一學級 (三十七名)

弘前 淺岡 義光 (青森) 大館 一戸 春俊 (青森) 小倉 宇佐美 一雄 (福岡)
 弘前 井澤 清七 (青森) 天城 小川 保 (岡山) 東京 曹洞宗 大見 良秀 (愛知)
 桐生 梶 晴雄 (栃木) 厚木 木村 靜雄 (神奈川) 盛岡 木村 忠司 (北海道)
 函館 齋藤 博 (北海道) 青森 坂上 二郎 (青森) 弘前 鈴木 正三郎 (青森)
 東京府 第一 鈴木 一郎 (東京) 成田 關川 安正 (千葉) 佐世保 關戸 正義 (長崎)
 上田 關 寅太郎 (長野) 村山 高橋 謹吾 (山形) 秋田 高橋 信太郎 (秋田)
 成東 高橋 武男 (千葉) 空知 高柳 勝雄 (北海道) 弘前 田邊 周藏 (青森)
 早稻田 竹内 謙吉 (東京) 東京府 第五 武源 一 (東京) 弘前 寺田 清 (青森)

東京府 第四 新田 勉 (東京)

東京府 義塾 羽賀 與七郎 (青森)

足利 波多野 三郎 (神奈川)

麻布 土師 俊次郎 (東京)

正則 原 進 (神奈川)

早稻田 廣瀬 秀雄 (茨城)

新潟 眞部 義雄 (新潟)

不動岡 増田 覺之 (埼玉)

京華 松野 泰夫 (東京)

弘前 三上 俊治 (青森)

東奥義塾 三浦 直 (青森)

秋田 茂又 弘德 (秋田)

立教 山本 明 (東京)

理科第三學年第二學級 (三十五名)

本莊 伊藤 伍郎 (秋田) 函館 市川 功 (青森) 豊橋 今橋 阜 (愛知)
 小倉 上田 彩夫 (福岡) 盛岡 小田嶋 信四郎 (岩手) 弘前 小山 貞 (青森)
 寒河江 大町 久藏 (山形) 白河 大戸 道夫 (福島) 喜多方 大原 保 (福島)
 青森 大和田 春郎 (秋田) 大分 岡本 愛光 (大分) 旭川 奥村 正 (北海道)
 青森 川崎 新三郎 (青森) 東京府 第三 清川 彰 (千葉) 秋田 北川 貞壽 (秋田)
 弘前 工藤 隆司 (青森) 函館 工藤 清之助 (青森) 柏崎 小林 豊吉 (新潟)
 秋田 小泉 六郎 (秋田) 弘前 佐藤 誠一 (青森) 都留 佐藤 正一 (山梨)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 山形 齋藤平三郎 (山形) | 仙臺第一齋 藤 琢 (宮城) | 東奥義塾神 久 策 (青森) |
| 盛岡 杉田 武 (岩手) | 瀧川 田村 斌夫 (徳島) | 都 留 高橋 榮穂 (山梨) |
| 濱松第一 竹原 平一 (静岡) | 成 東 外川 米吉 (千葉) | 仙臺第二 引田 雄二 (秋田) |
| 盛岡 細川 久喜 (岩手) | 函 館 前田 秀雄 (北海道) | 弘前 増田 桓一 (静岡) |
| 開成 松本 銈太 (神奈川) | 弘前 油井 直行 (青森) | |
- 文科第二學年第一學級 (三十八名)
- | | | |
|-------------------|-------------------|------------------|
| 東京府 第四 東 清 英 (熊本) | 開成 阿部 章弘 (群馬) | 大 館 伊藤 鞠郎 (秋田) |
| 秋 田 伊藤 光夫 (秋田) | 臺北第一 石 渡 文雄 (神奈川) | 弘前 大高 勝次郎 (青森) |
| 京都第一 太田 爲弘 (京都) | 小田原 奥津 眞平 (神奈川) | 秋 田 加賀谷 篤一郎 (秋田) |
| 東奥義塾 工藤 元一 (青森) | 青 森 工藤 勇助 (青森) | 京都第三 楠 正 (京都) |
| 青森商 小泉 静治 (青森) | 東京府 第四 小幡 康哉 (千葉) | 弘前 今 儀 雄 (青森) |
| 名 寄 佐藤 貞一 (新潟) | 白石 佐藤 新吾 (宮城) | 大 館 櫻庭 久雄 (秋田) |
| 磐城 白井 武夫 (福島) | 東京府 第三 菅原 敏夫 (岩手) | 濱 松 高部 省吾 (静岡) |

- | | | |
|----------------|--------------------|------------------|
| 青 森 千葉 元江 (青森) | 青 森 津島 修治 (青森) | 京 華 塚 原 肅 (滋賀) |
| 花 園 富田 弘宗 (山梨) | 東京府 第五 中島 新太郎 (東京) | 釧 路 中西 六三 (北海道) |
| 弘前 成田 哲夫 (青森) | 花 園 長 島 征 (兵庫) | 三 池 服部 義彦 (福岡) |
| 旅 順 平瀬 喜美 (山形) | 東京府 第五 松本 眞雄 (東京) | 宇都宮 松澤 義雄 (栃木) |
| 宇都宮 三浦 正次 (群馬) | 札幌第三 三田村 東一 (石川) | 新 登 田 皆川 芳夫 (新潟) |
| 福 島 宮下 利一 (福島) | 東京府 第一 山本 英一 (大阪) | |
- 文科第二學年第二學級 (三十七名)
- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 奥奥義塾 新谷 武四郎 (青森) | 太田原 阿久津 壽 (栃木) | 弘前 伊藤 正浩 (青森) |
| 東京府 第六 池田 五郎 (東京) | 札幌 上山 正二 (北海道) | 東京府 第六 小川 潤一 (東京) |
| 東京府 第一 加藤 幸藏 (秋田) | 弘前 菊池 正 (秋田) | 東北 鬼 川 誠 (秋田) |
| 青 森 木村 要次郎 (青森) | 成 城 栗原 泰次郎 (東京) | 成 城 小坂 龜雄 (東京) |
| 宇都宮 小林 満 (栃木) | 芝 小林 伸男 (東京) | 三 養 基 古賀 善次郎 (佐賀) |
| 太田原 齋藤 武夫 (福島) | 東京府 第二 西條 俊一 (山形) | 弘前 坂田 二郎 (青森) |

太田原 坂本 龍太 (栃木)	青森 嶋 邦男 (青森)	仙臺第一 鈴木喜四郎 (宮城)
弘前 高田 輝雄 (廣島)	一ノ關 千葉 長治 (岩手)	岩見澤 南部 農夫治 (山口)
秋田 新田 七郎 (秋田)	富士 野村 治郎 (靜岡)	沼津 服部 勳 (靜岡)
室蘭 藤井 周吉 (北海道)	函館師 藤井 幸之助 (青森)	京都第二 松井 治 (京都)
室蘭 三戸 幹夫 (廣島)	甲陽 三善 協中 (兵庫)	弘前 三上 貞雄 (青森)
秋田 三國 友治 (秋田)	弘前 三浦 德太郎 (青森)	福島 安田 正 (福島)
錦城 吉田 敏夫 (秋田)		

文科第二學年第三學級 (三十八名)

東京府 第一 赤井 紀夫 (福島)	米澤 安部 晋一 (山形)	盛岡 阿部 清治郎 (岩手)
順天 市川 善宗 (長野)	横濱第二 岩橋 一雄 (和歌山)	眞岡 池 葉 惇 (栃木)
盛岡 上田 重彦 (岩手)	東京府 第三 井尻 喜之祐 (京都)	世田谷 大澤 良範 (福島)
弘前 大平 泰治 (青森)	甲府 片桐 謙一 (宮城)	諏訪 久保田 周介 (長野)
熊谷 小宮 義治 (埼玉)	弘前 小林 麟太郎 (青森)	新發田 佐藤 貫衛 (新潟)

青森 島田 慶司 (青森)	麻布 柴田 數郎 (茨城)	石川 鹿内 健三 (青森)
瀧々崎 竹内 精一 (茨城)	秋田 高根 五郎 (秋田)	成城 太宰 友次郎 (福島)
成見澤 辻村 朔郎 (北海道)	仙臺第一 津久井 信也 (栃木)	北海 德永 俊夫 (北海道)
弘前 鳴海 理三郎 (青森)	東京府 第七 中山 良男 (東京)	鶴岡 成澤 與一郎 (山形)
麻布 廣澤 照彦 (青森)	麻布 藤嶋 良輔 (大阪)	大成 保坂 虎雄 (栃木)
盛岡 松本 敬吾 (岩手)	彦根 松原 五千郎 (滋賀)	大成 三關 幸太郎 (東京)
弘前 宮本 誠三 (青森)	弘前 村井 等 (岩手)	順天 山下 謙治 (東京)
伊那 矢野 晁輝 (長野)	札幌師 吉田 外次郎 (北海道)	

理科第二學年第一學級 (四十一名)

大館 阿部 忠一郎 (秋田)	錦城 安倍 亮 (大分)	秋田商 有坂 廉治 (秋田)
東京府 第三 青木 珠美雄 (東京)	水戸 會澤 政規 (茨城)	弘前 秋田 勝雄 (青森)
眞岡 飯塚 大東 (栃木)	高崎 石井 彌平 (群馬)	青森 上野 泰彦 (青森)
北海 大西 亥輔 (北海道)	明治 學院中 大竹 利郎 (靜岡)	仙臺 第一 及川 象平 (宮城)

仙臺第一及川秀之輔 (宮城)	函館奧瀬槐三 (千葉)	青森柏木正一 (青森)
大連第一北川政夫 (三重)	順天栗原文雄 (栃木)	弘前工藤廣世 (青森)
函館工藤長造 (北海道)	浦和酒井澄 (群馬)	札幌第二佐藤桂也 (宮城)
根室商清水捷二郎 (北海道)	大泊鈴木重光 (廣島)	喜多方鈴木大 (福島)
海南徂徠保藏 (和歌山)	諏訪竹内肥富美 (長野)	函館武田剛 (北海道)
東北學院中 高橋剛一郎 (宮城)	弘前津川武一 (青森)	東京府第六對馬一郎 (東京)
弘前寺山敏彦 (青森)	福岡長岡善一郎 (岩手)	旭川長野重治 (北海道)
高田星野伸男 (新潟)	粕壁丸山鼎 (埼玉)	秋田松井彦三 (秋田)
八輪宮下常次 (新潟)	大館綠川林造 (福島)	白杵見鹽忠海 (大分)
高尾山莊一雄 (大隈)	旭川山本靜 (北海道)	

理科第二學年第二學級 (四十一名)

湖南赤木玄 (兵庫)	光澤飯塚榮次郎 (秋田)	弘前岩淵謙三郎 (青森)
成東上田文洋 (千葉)	甲府商井上清光 (山梨)	弘前小野宗一 (青森)

旭川岡部重明 (京都)	北海道小田川國水 (茨城)	攻玉社大脇巖 (北海道)
豊橋河合繁平 (愛知)	東京府第四樺島三雄 (東京)	札幌第一柿本六也 (北海道)
弘前木津谷泰治 (青森)	青森工藤文健 (青森)	宇都宮黑崎良三 (栃木)
高田草刈正清 (滋賀)	新發田小林透 (新潟)	弘前佐々木貞二 (青森)
弘前齋藤利雄 (青森)	成東島田博 (千葉)	浦和島田通男 (埼玉)
函館島野正夫 (北海道)	弘前澁谷良次 (青森)	函館清水美虎 (東京)
弘前庄司初郎 (宮城)	青森山杉浦良雄 (東京)	旭川鈴木卓雄 (北海道)
日本大學中 谷口益郎 (茨城)	専檢築館熊雄 (青森)	大館津谷忠夫 (秋田)
小田原戸澤貞 (神奈川)	村上遠山秀雄 (新潟)	磐城永井元康 (福島)
函館成田敏男 (青森)	弘前野宮義臣 (青森)	青森附野原正 (三重)
立教林靜一 (千葉)	東京府第二平岩通夫 (鳥取)	豊橋水口三郎 (富山)
米澤山口慶太郎 (山形)	成東山本秀行 (千葉)	

文科第一學年第一學級 (四十名)

大館 石橋 英夫 (鳥根)	陸軍功 伊藤 文夫 (北海道)	喜多方 井上 國男 (福島)
村上 小田 定一 (新潟)	小樽 小熊 政吉 (北海道)	松山 小熊 又三 (埼玉)
青森 大川 廉太郎 (青森)	東京府 大下 清彦 (京都)	京都 大井 正義 (愛知)
前橋 大河原 秀雄 (群馬)	上野 北原 耕一 (三重)	新潟師 桑原 正信 (新潟)
盛岡 黒部 俊一 (山形)	熊谷 經塚 四礎人 (富山)	光州 吳 德 淳 (朝)
横手 佐々木 真綱 (秋田)	帶廣 佐藤 永弑 (岩手)	太田原 佐原 良輔 (栃木)
東奥義塾里見 眞平 (青森)	網走 設樂 幸男 (東京)	京都第一 鈴木 光武 (千葉)
盛岡 菅原 正彦 (岩手)	弘前 關 壽 (青森)	三次 世良 英夫 (廣島)
松本 田代 繁雄 (神奈川)	東京府 高山 春樹 (長崎)	藤岡 原田 七五三藏 (群馬)
八月 林 徳右衛門 (青森)	弘前 羽賀 靖 (青森)	浪速 平野 明 (東京)
弘前 菱谷 莊治郎 (青森)	長野 松本 勝 (長野)	盛岡 又重 盛一 (岩手)
本庄 宮澤 威博 (長野)	弘前三上 俊雄 (青森)	八月 村井 清 (青森)
小倉 守田 公夫 (熊本)	麻布 森本 文雄 (千葉)	岩岡 山縣 千萬人 (山口)

撫養 吉兼 政秀 (徳島)

文科第一學年第二學級 (四十名)

八月 淺利 一雄 (青森)	日川 石倉 初男 (山梨)	弘前 一戸 正三 (青森)
豊島師 江川 良平 (岐阜)	濟々登 岡林 克巳 (高知)	余市 笠島 疆一 (北海道)
第二神戸 金田 繁平 (大阪)	弘前 加福 益造 (青森)	根室商 木村 五一 (秋田)
青森商 倉内 重次郎 (青森)	桃山 工藤 四郎 (長野)	八月 小島 淳道 (青森)
磐城 木幡 英男 (福島)	高根 小高根 二郎 (秋田)	明治 佐藤 誠 (千葉)
富山商 齋藤 保 (富山)	東京府 第四座間 一郎 (千葉)	岸和田 坂田 悌三 (大阪)
錦城 椎野 新 (徳島)	磐城 鈴木 義忠 (福島)	日高 田端 健一 (北海道)
浦和 田口 佐武郎 (埼玉)	仙臺第一 蛸八郎 右衛門 (宮城)	富岡 高橋 久 (群馬)
第一 鹿兒島 長野 達 (福井)	八女 中島 胤比古 (福岡)	長岡 中林 新 (新潟)
東奥義塾 成田 留一 (青森)	甲府 仲澤 一正 (山梨)	中田 新美 恒二 (愛知)
酒田 兵藤 健作 (山形)	宇都宮 増淵 俊一 (栃木)	尾張 牧原 彦平 (愛知)

花園馬淵 丹治 (滋賀) 國土館 三浦 竹男 (青森) 高田 三上 孝廉 (新潟)
 甲府宮地 進 (東京) 錦城 茂木潤一郎 (千葉) 盛岡 山田 五郎 (岩手)
 錦城 吉田 春雄 (東京)

文科第一學年第三學級 (四十名)

京都第一青木 豪 (京都) 大多喜 石井 靜雄 (千葉) 盤城 宇佐神 正康 (福島)
 八雲 鶴飼 直輝 (愛知) 北海 大石 武司 (北海道) 金澤第一大澤 錠二 (東京)
 弘前 小田桐孫一 (青森) 眞岡 苅部 安正 (栃木) 弘前 葛 西 洋 (青森)
 盛岡 菊池 一美 (岩手) 弘前 淨山 得慧 (青森) 弘前 黑瀧 秀三 (青森)
 函館 窪田 育造 (青森) 青森商工 藤 慶三 (青森) 甲府 小池 敏隆 (山梨)
 錦城商 小杉 録之助 (東京) 横濱第一 佐藤 滋雄 (東京) 相馬農蠶 佐藤 智恒 (福島)
 新發田 佐藤 久雄 (新潟) 弘前 佐藤 誠次郎 (青森) 京都第三 柴田 五郎 (滋賀)
 眞岡 柴田 碧 (栃木) 仙臺第二 鈴木 義雄 (宮城) 佐原 關口 和吉 (茨城)
 關西 田中 黃光 (廣島) 田邊 田中 大六郎 (和歌山) 神通 田中 隆敏 (山口)

仙臺第一 只野 武志 (宮城) 秋田 高橋 匡四郎 (秋田) 古川 豊岡 忠 (宮城)
 日本 野口 義長 (東京) 芝 橋本 秀一 (東京) 八月 福田 伴美 (青森)
 小樽 藤野 健治 (北海道) 本莊 丸山 喜代松 (秋田) 東京獨協松山 道夫 (三重)
 旭川 三宅 一郎 (佐賀) 旭川 村田 藤尚 (北海道) 佐倉 武藤 勇次郎 (東京)
 弘前 山本 耕次 (青森)

理科第一學年第一學級 (四十名)

沼津 安藤 正弘 (静岡) 黒澤尻 阿部 圓治郎 (岩手) 都留 天野 銀彌 (山梨)
 秋田 五十嵐 直 (秋田) 弘前 石戸谷 賢愷 (青森) 三條 石田 達也 (新潟)
 名寄 扇田 久尾 (北海道) 前橋 木嶋 徳一郎 (群馬) 長野 佐々木 信 (長野)
 弘前 佐々木 省吾 (青森) 遠野 佐々木 松太郎 (岩手) 横手 佐藤 武夫 (宮城)
 弘前 佐藤 知信 (青森) 本莊 佐藤 力之助 (秋田) 岩手工 佐藤 秀治 (岩手)
 弘前 白岩 正夫 (福島) 青森 杉山 秀次郎 (青森) 横手 須田 確二 (秋田)
 仙臺第二 高橋 武夫 (宮城) 芝 高山 馨 (秋田) 青森 田中 敏文 (青森)

函館田端正男(北海道) 新潟寺田利男(茨城) 横濱第一徳丸賢之助(神奈川)
 廣稜中本一明(廣島) 畝傍中原健太郎(奈良) 弘前成田四萬夫(青森)
 松本商橋倉勝治(長野) 鳥取第一林正浩(鳥取) 函館畠山芳夫(北海道)
 新發田八田秀三郎(長野) 成東花澤重雄(千葉) 松本古谷良平(岐阜)
 弘前丸山翠(青森) 嘉穂松隈廣(福岡) 八尾村井良三(大阪)
 桑名山本文次郎(三重) 太田吉田正久(茨城) 仙臺第一横山徹郎(宮城)
 龍ヶ崎横瀬丈夫(茨城)

理科第一學年第二學級 (四十一名)

旭川厚見秀雄(埼玉) 青森伊東邦男(青森) 一ノ關伊藤恭(岩手)
 東京府第二石川保(東京) 唐津石河英一(佐賀) 青森蝦名七郎(青森)
 札幌第二貝塚皓(神奈川) 仙臺第二上石一男(宮城) 日川片倉逸(山梨)
 弘前菊池洋(青森) 弘前栗林初男(青森) 脇町源田筆雄(徳島)
 土浦小貫信郷(栃木) 弘前小岩井隆(茨城) 青森柴田治三郎(青森)

錦城神向寺敬之助(茨城) 東京府第四關根實(東京) 太田錢場愛雄(茨城)
 日本瀧澤敏夫(新潟) 青森館山健(青森) 京北土棟清正(青森)
 札幌第二出町 豊(北海道) 遠野照井貞雄(岩手) 秋田商富塚泰藏(秋田)
 開成豊島隆(鹿兒島) 弘前花田勇造(青森) 弘前船水四郎(青森)
 安積星龜撤(福島) 川越松岡徳治(埼玉) 水戸松尾繁(茨城)
 盛岡三田俊定(岩手) 白石宮城四郎(宮城) 秋田宮越六郎(秋田)
 甲府宮川勝馬(山梨) 相馬門馬秀夫(福島) 横手山田章次(秋田)
 弘前山本耕一(青森) 都留山口忠(山梨) 弘前山田竹松(青森)
 大館和田忠貞(秋田) 白石亘理二郎(宮城)

一、生徒、入學志願者、入學者及卒業生學科別表

生	徒	計
第一學年	第二學年	第三學年
入學志願者	入學者	卒業生

合計	理科			文科		
	計	丙類	乙類	計	丙類	甲類
一九七	七八	—	四〇	一一九	—	七九
一九四	八二	—	四一	一一二	—	七四
一七七	七二	—	三五	一〇五	—	七二
五六八	二二二	—	一一六	三三六	—	二二五
一七六六	七五一	—	四七三	一〇一五	—	七九二
一八〇	七〇	—	四四	一一〇	—	八六
一七一	六二	—	三〇	一〇九	—	七七

備考

本表中「獨」トアルハ獨語受験者及入學者ニシテ共ニ内數ヲ示ス

三、生徒本籍別表

縣別	學年別	文科			理科			合計
		第三學年	第二學年	第一學年	第三學年	第二學年	第一學年	
北海道		八	六	七	五	一〇	三	一八
青森		二四	二二	二四	一八	一六	一八	五二
岩手		五	六	五	三	一	六	一〇
宮城			三	四	一	五	七	一三
秋田		五	一一	五	七	五	七	一九
山形		二	四	二	三	一		四
福島		四	七	五	二	三	二	七
茨城		一〇	二	一	一	三	七	一一
栃木		二	七	四	一	三	一	五
合計		三九	二二	二二	二二	二二	二二	一八

鳥	和	奈	兵	大	京	滋	三	愛	靜	岐
取	歌	良	庫	阪	都	賀	重	知	岡	阜
	三				一		一	一		二
	一		二	二	四	二			三	
	一			二	二	二	二	四		一
	五		二	四	七	四	三	五	三	三
								二	二	
	一		一	一	一	一	二	一	一	
	一		一	一			一		一	一
	二	一	一	一	一	一	三	三	四	一
	二	六	一	三	六	八	五	六	八	七
	六		三	六	八	五	六	八	七	四

長	山	福	石	富	新	神	東	千	埼	群
木	梨	井	川	山	潟	奈	京	葉	玉	馬
野						川				
	一		二	一	四		一	三	三	三
五	一		一		三	二	〇	一	一	二
	三				五	一	〇	六	二	三
	三	一		二	一	三	三	〇	六	八
	五	一	三	三	二	三	三	〇	六	八
	二				二	四	七	四	一	
	一				四	一	五	五	二	二
	一			一	四	二	二	一	二	一
	三	四		六	二	二	二	一	二	一
	五	七		〇	八	七	四	〇	五	三
	一			四	二	〇	四	二	一	一
一	二	一	三	四	〇	〇	六	〇	一	一

實	中 學 校 卒 業 者							計	本年卒業	前年卒業
	卒二年以前	卒三年以前	卒四年以前	卒五年以前	卒六年以前	卒七年以前	卒業			
本年卒業	三三二	三七	二二八	一一	五五〇	四八	八・七三			
前年卒業	二二二	二二	一六五	二二	三八七	四六	一一・八九			
計	九〇	一〇	八一	一四	一七一	二四	一四・〇五			
卒三年以前	三七	五	二二	三	五九	八	一三・五六			
卒四年以前	一八	三	一一		二九	三	一〇・三四			
卒五年以前	五	一	六		一一	一	九・〇九			
卒六年以前	五		一		六					
卒七年以前	二				二					
計	七〇一	七九	五二四	五二	二二二五	二三〇	一〇・七〇			
本年卒業	一二		六		一八					
前年卒業	一二	三	九		二一	三	一四・二九			

業 學 校 卒 業 者

總 計	高等學校高等科入學資格試驗合格者	文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者	業 學 校 卒 業 者					計	本年卒業	前年卒業
			卒二年以前	卒三年以前	卒四年以前	卒五年以前	卒六年以前			
本年卒業	九	六	一	一七	四八	八・七三				
前年卒業	六	七	三	一三	四六	一一・八九				
計	四〇	七五	一〇	一三・三三	二四	一四・〇五				
卒二年以前	一	一	一	一	一	一三・五六				
卒三年以前	六	一三	二	二	二	九・〇九				
卒四年以前	一	三	一	一	一	一〇・三四				
卒五年以前		二				九・〇九				
卒六年以前		一								
計	四〇	七五	一〇	一三・三三	二四	一四・〇五				
本年卒業	五	七	二	一七	四八	八・七三				
前年卒業	一	一	一	一	一	一三・五六				
計	一〇〇三	一〇九	七四六	七〇一	二七四九	一七九	一〇・二三			

備 考

一、朝鮮人志願者八、合格者
 一、臺灣人志願者九、

本表ニ算入セズ

生徒及卒業生

五、生徒及入學者、卒業生年齢別表

種別	最高年齢			最低年齢			平均年齢		
	文科	理科	計	文科	理科	計	文科	理科	計
生徒	27,066	22,032	16,033	16,033	16,033	19,033	18,100		
第一學年	27,066	22,032	16,033	16,033	16,033	19,033	18,100		
第二學年	28,044	27,011	17,033	17,033	17,033	19,033	20,022		
第三學年	27,033	27,044	18,011	18,011	18,011	20,010	20,077		
入學者	27,066	22,033	16,033	16,033	16,033	19,033	19,211		
卒業者	26,055	27,000	18,044	18,022	21,033	21,000			

六、生徒本年卒業ノ狀況

種別	文科卒業業者		理科卒業業者		合計
	甲類	乙類	甲類	乙類	
東京帝國大學法學部	2	1	3	1	7

種別	文科	理科	計	文科	理科	計
全 文學部	11		11			11
全 經濟部	10	3	13			13
全 工學部		3	3			3
全 農學部		1	1			1
京帝國大學法學部	15	1	16			16
全 文學部	4	1	5			5
全 經濟部	4	1	5			5
全 工學部		2	2			2
全 農學部		2	2			2
東帝國大學醫學部		2	2			2
全 工學部		2	2			2
全 經濟部	4	1	5			5
全 文學部	4	1	5			5
全 工學部		2	2			2
全 農學部		2	2			2
北帝國大學醫學部		2	2			2
全 工學部	1	7	8			8

全	理學部								
全	法文學部	二二	五	二六				二六	二
九州帝國大學法文學部		一		一				一	
北海道帝國大學農學部					一		二	三	一
新潟醫科大學					三		二	五	五
千葉醫科大學						六	六	六	六
金澤醫科大學						二	二	二	二
明年大學入學志望ニテ自修者	八	六	一四	一〇	一三	二三	三七		
計	七七	三二	一〇九	三二	三〇	六二	一七一		

七、卒業生氏名

(五十音順)

(氏名ノ上段ハ在籍學部略稱、法、文、工等ハ學士ノ略稱) (下段ハ本籍府縣名、氏名上) ●ハ死亡

第一回(大正十三年三月)卒業(百三十六名)

文科甲類 (六十五名)

- 法 淺野 宏 (茨城) 法 秋林 正次郎 (秋田) 法 相内 禎介 (青森)
- 法 淺井 勝彦 (埼玉) 經、京文 伊藤 義 (福岡) 文 伊藤 泰司 (千葉)
- 文 石神 正 (北海道) 文 池田 健三 (青森) 法 伊藤 昇弼 (青森)
- 文 石田 雄一 (栃木) 經 伊藤 聰 (岩手) 法 宇佐美 毅 (山形)
- 經 太田 熙 (北海道) 經 小川 八郎 (千葉) 經 小田 孝次 (石川)
- 法 大里 國孝 (東京) 經 岡本 巖 (岐阜) 法 町田改 奧田 貞夫 (北海道)
- 法 加藤 秀男 (東京) 文、東法 加藤 虎太 (山形) 文 河崎 長 (京都)
- 文 金子 直衛 (長野) 京法 河村 義光 (山口) 經 鹿野 醇 (宮城)
- 文 勝山 數麿 (福井) 東經 齋藤 進次 (東京) 經 佐藤 三朔 (群馬)
- 文 志田 不動麿 (北海道) 法 白井 八洲雄 (福岡) 法 島津 政雄 (山形)
- 法 清水 滋 (福井) 法 鈴木 英一郎 (愛知) 文 館山 一 (青森)

經	高橋 英夫 (青森)	經	竹内 平藏 (秋田)	法、京經	津末 健兒 (福岡)
東經	戸崎 友則 (秋田)	經	夏堀 正三 (青森)	經	中村 吉良 (山形)
醫	奈良 太二郎 (青森)	文	西部 是正 (北海道)	法	野 松 茂 (富山)
經	長谷川 豊 (青森)	東法	芳賀 四郎 (北海道)	東經	萩野 剛一 (和歌山)
文、京法	林 亮天 (長野)	法	平山 寅次郎 (秋田)	經	堀田 小三郎 (愛知)
京法	北條 新次郎 (兵庫)	●	松村 村松 (埼玉)	法	松原 哲郎 (北海道)
經	三代川 秀夫 (千葉)	經	水野 直澄 (熊本)	文	宮川 義造 (青森)
法	村上 虎雄 (秋田)	法	山田 秋義 (和歌山)	新醫	山下 竹藏 (青森)
醫	山本 一郎 (北海道)	法	米山 節三 (静岡)	新醫	末五郎改 吉田 智恩 (青森)
經	吉岡 圭治 (埼玉)	經	森 維嘉 (福岡)	經	和賀 賢治郎 (秋田)
慶經	若城 隆一 (青森)				
文科乙類 (二十九名)					
法	秋田 達 (茨城)	法	石川 寅三郎 (秋田)	東法	内野 仙一郎 (東京)

法	大鐘 正義 (福岡)	經	大 栗 明 (栃木)	法	小山内 信一 (青森)
法	小瀧 民之丞 (栃木)	法	澤井 賢太郎 (富山)	醫	齋藤 出羽 (栃木)
文	關 ^{河井改} 公平 (東京)	法	水津 征一 (嶋根)	法	田 島 庫治 (愛知)
法	高 久 勇 (福岡)	法	高野 登美雄 (北海道)	法	田村 俊雄 (山形)
文	成田 昌信 (青森)	文	中村 英夫 (山形)	文	根 本 辰 (宮城)
經	兵 藤 孝 (茨城)	醫	福井 元之輔 (青森)	法	松村 重次 (熊本)
法	三橋 又一 (青森)	文	皆川 英夫 (北海道)	經	三木 列次郎 (兵庫)
經	兩角 一夫 (長野)	法	柳川 眞文 (東京)	京法	柳澤 吉太郎 (秋田)
法	横山 一郎 (東京)	金醫	渡 部 亘 (福岡)		
理科甲類 (二十二名)					
農	泉山 新助 (青森)	醫	伊藤 得二郎 (東京)	文	井 坂 清 (東京)
農	江渡 龍彌 (青森)	工	小野 孝一 (青森)	東北醫	大 林 一三 (東京)
京工	貝 原 三 策 (青森)	醫	柿沼 哲治 (東京)	理	加藤 一男 (秋田)

- 工 川島三四郎 (東京) 醫 河合忠義 (岡山) 農 岸德次 (神奈川)
- 醫 北川龍藏 (富山) 農 小泉一郎 (岩手) 農 小沼信夫 (北海道)
- 工 阪本昇 (福岡) 理 齋藤馨 (青森) 農 田島竹介 (愛知)
- 醫 中村豊彌 (青森) 農 平山清一 (千葉) 東醫 嶺脇五郎 (秋田)
- 理 幸田惣助 (青森)
- 理科乙類 (二十名)
- 氏家時臣 (宮城) 金醫 勝間田耕秋 (靜岡) 文 樫尾直次郎 (秋田)
- 醫 勝又清一郎 (秋田) 醫 嘉ノ海武夫 (兵庫) 東北醫 久保田榮 (青森)
- 千葉醫 小林幸太郎 (三重) 東醫 齋藤義雄 (青森) 千葉醫 齋藤吉郎 (青森)
- 農 佐藤律五郎 (青森) 醫 瀧澤英司 (栃木) 醫 高谷鴻一 (北海道)
- 金醫 田中豊 (北海道) 東北醫 中里英夫 (青森) 新醫 西村英一 (青森)
- 醫 原義男 (埼玉) 東醫 松木明 (青森) 醫 三上金三郎 (青森)
- 醫 矢吹四郎 (福岡) 東文 橫岡雅雄 (青森)

第二回 (大正十四年三月) 卒業 (百八十四名)

文科甲類 (七十四名)

- 九、法文網中勉 (大分) 經 安藤信一 (北海道) 經 飯田保吉 (愛知)
- 東北法文井出正泰 (長野) 經 伊藤伊佐夫 (千葉) 經 伊藤德三 (北海道)
- 東經 井上武 (千葉) 文 及川健助 (岩手) 經 大橋清郷 (奈良)
- 法 大久保正名 (青森) 法 大和田彌一 (福岡) 法 奥野利一 (神奈川)
- 法 小佐野照人 (山梨) 法、京文 落合勇 (茨城) 東文 小野久三 (青森)
- 法 川口時彰 (宮崎) 經 唐木岩雄 (靜岡) 東經 唐牛惣三郎 (青森)
- 法 川崎寅造 (高知) 經 木村干城 (京都) 經 清瀧幸次郎 (大阪)
- 經 工藤友三郎 (青森) 經 工藤次郎 (青森) 新醫 工藤秀雄 (山形)
- 經 窪田不二夫 (山梨) 東經 熊谷信二 (埼玉) 東經 栗原繁樹 (愛媛)
- 文 齋藤勝次郎 (青森) 經 佐藤一平 (愛知) 京文 佐藤一雄 (三重)
- 東法 佐藤久一 (青森) 京經 佐藤武夫 (福岡) 東文 佐藤昌樹 (東京)

法	芝田 倭文夫 (三重)	東文	柴田 宣勝 (秋田)	經	柴屋亮之助 (東京)
法	菅井 習 (茨城)	經	菅井 陽 (茨城)	法	菅谷 知己 (大阪)
經	清藤 一郎 (青森)	東法	善常 一三 (千葉)	東法	副島 種 (東京)
法	高橋 司三治 (青森)	法	高橋 半三 (東京)	東法	高山 虎雄 (山梨)
法	辰巳 好弘 (奈良)	經	田村 愛吉 (青森)	京經	津田 清太郎 (青森)
經	豐田 眞次郎 (大阪)	經	中川 信行 (福岡)	經	中田 篤美 (青森)
經	南野 勝一 (山口)	經	林 昌也 (東京)	法	林 光雄 (福井)
京經	針生 寅次郎 (宮城)	東法	日高 輝 (東京)	東經	平山 清三郎 (東京)
法	福田 祐一 (東京)	經	福中 次郎 (兵庫)	法	古屋 久雄 (山梨)
東文	本田 高康 (東京)	東北法文	牧山 雅彌 (東京)	法	松野 孝一 (秋田)
東法	萬田 五郎 (秋田)	法	三須 宗太郎 (滋賀)	東經	水野 揚造 (岐阜)
經	目賀田 康 (東京)	東經	山崎 治雄 (群馬)	東文	山内 豊榮 (愛媛)
京文	若城 久治郎 (青森)	經	若林 俊治 (秋田)	法、京文	鷺岳 解雄 (青森)

法 渡邊 孝一 (愛知)

文科乙類 (三十二名)

經	青木 清一郎 (埼玉)	法	阿部 伴七 (廣嶋)	東經	飯泉 三郎 (神奈川)
東文	伊藤 六十次郎 (青森)	經	井上 茂敏 (神奈川)	京文	伊吹山 太郎 (東京)
法	今岡 威麿 (青森)	法	岩井 清治 (兵庫)	京文	加藤 正一 (秋田)
法	加藤 庄市 (廣嶋)	法	金山 重雄 (鳥取)	慈惠醫大神部	勝之助 (京都)
東法	木村 義雄 (東京)	經	佐々木 一二 (秋田)	新醫	笹森 義郎 (青森)
法	高 島 効 (東京)	東文	高橋 重五郎 (青森)	新醫	田島 十郎 (長野)
東法	田中 佳一 (山口)	法	田端 虎雄 (埼玉)	法	寺岡 健次郎 (山形)
法	飛島 定城 (青森)	東文	豊田 保 (鳥取)	文	中泉 哲俊 (秋田)
經	中尾 通 (宮崎)	東經	中村 博吉 (山口)	法	西村 貞一 (長野)
法	西脇 親 (東京)	經	島田改 原田 正司 (青森)	經	松生 幸雄 (熊本)
	森 嘉雄 (兵庫)	法	山本 研治 (兵庫)		

理科甲類 (三十六名)

京工	秋元 信一 (北海道)	農	新谷 虎之助 (福井)	工	有泉 二郎 (東京)
千葉醫	伊藤 雄次 (山形)	農	上田 朝夫 (兵庫)	東北醫	内山 繁一 (青森)
東北工	内澤 政勝 (岩手)	千葉醫	織田 信也 (秋田)	千葉醫	上山 巖 (東京)
●	久保田 千秋 (青森)	工	今 晃一 (青森)	東工	棚山 一郎 (岩手)
理	島田 正徹 (高知)	農	高鹽 朝治 (北海道)	千葉醫	高橋 敏夫 (茨城)
東文	館岡 俊之助 (秋田)	東農	立花 文二 (岩手)	工	塚本 梅雄 (熊本)
東農	長倉 義夫 (静岡)	京理	中村 潔 (神奈川)	千葉醫	中村 男三 (和歌山)
東北工	芳賀 秀雄 (青森)	千葉醫	橋本 三太郎 (北海道)	東北醫	馬場 正隆 (青森)
農	羽 太 章 (栃木)	京醫	星野 一郎 (群馬)	農	松田 季五郎 (東京)
●	三浦 敏郎 (青森)	●	三谷 重文 (東京)	長崎醫	森尾 精末 (北海道)
東工	矢田 昌四郎 (青森)	工	柳田 達三郎 (北海道)	東農	山縣 孝一 (秋田)
農	山本 太三郎 (青森)	農	山谷 潤恵 (青森)	工	渡邊 茂 (東京)

理科乙類 (四十二名)

東北醫	赤阪 貞助 (青森)	東北醫	秋本 庸夫 (青森)	東北醫	阿部 辰夫 (青森)
京醫	越後屋 新藏 (秋田)	新醫	井深 圭太郎 (青森)	金醫	大橋 三治 (愛知)
東北醫	小野崎 宣助 (秋田)	金醫	加古 御蓋 (東京)	千葉醫	葛 西 清 (青森)
東北醫	金子 武雄 (群馬)	東北醫	金田 文平 (栃木)	東北醫	菊池 紫朗 (青森)
新醫	北村 雄次郎 (青森)	東北醫	木村 三樹男 (岩手)	金醫	楠 謙 次 (富山)
東醫	工藤 正四郎 (青森)	東北醫	久保田 牧郎 (青森)	農	小泉 静雄 (山梨)
東醫	齋藤 秀世 (青森)	岡醫	佐藤 進六 (香川)	新醫	白 井 勇 (千葉)
東北醫	杉山 一郎 (秋田)	千葉醫	鈴木 政治 (青森)	新醫	加 ^加 ^加 鈴木 直 (新潟)
金醫	壽山 三郎 (愛知)	東工	瀬川 安一郎 (岩手)	東北醫	渡 ^渡 邊 安太郎 (静岡)
金醫	高松 雄 (秋田)	東北醫	高山 武士 (山梨)	東北醫	竹谷 禮司 (青森)
京醫	田村 三夫 (和歌山)	東醫	足澤 三之介 (岩手)	金醫	中谷 定義 (青森)
●	中谷 律郎 (青森)	東農	新田 瑛一郎 (山梨)	東北工	平賀 廣一 (岩手)

岡醫 藤岡 晋 (岡山) 九醫 藤林 道三 (新潟) 京醫 前原 勝樹 (群馬)
 九醫 馬淵 三修 (東京) 東醫 丸山 龜久治 (青森) 千葉醫 森 喬 (東京)

第三回 (大正十五年三月) 卒業 (百四十五名)

文科 甲類 (六十二名)

京經 淺井 信通 (石川) 京法 穴水 顯一 (青森) 東經 阿部 政行 (山形)
 京法 磯野 浩 (宮城) 東經 泉 廣 (青森) 京法 大石 義雄 (山形)
 京經 小川 利兵衛 (愛媛) 東經 奧村 兵一 (青森) 京經 大信田 榮助 (岩手)
 東北法文 岡田 馨志 (宮城) 東北法文 奧山 隆 (靜岡) 東北法文 柏山 恒雄 (宮城)
 東經 神田 三子男 (山梨) 東文 河田 茂治 (秋田) 東經 菊池 良輝 (福嶋)
 東法 北野 治 (滋賀) 京經 喜多村 隆重 (京都) 東法 工藤 又三郎 (青森)
 京經 齋藤 次郎 (東京) 東北法文 齋藤 忠雄 (北海道) 東法 笹森 猛正 (青森)
 東文 穴戸 教之 (山形) 東經 島田 雷三 (熊本) 九州法文 神 純一 (青森)
 東北法文 鈴木 玄 (青森) 東北法文 鈴木 隆夫 (宮城) 東經 關口 猛夫 (長野)

多賀義一郎 (宮城) 東經 土田 榮一 (東京) 東文 中根 忠克 (青森)
 東經 中島 忠 (德嶋) 京法 長谷川 宏 (秋田) 東經 林 捷三 (廣嶋)
 東法 福士 敏光 (青森) 京文 福田 良輔 (福岡) 東經 細井 倅 (石川)
 東經 蒔苗 唯儀 (青森) 東經 牧田 忠夫 (岩手) 京法 松岡 知祐 (香川)
 京法 松木 浩 (青森) 東經 松本 博 (廣嶋) 京法 丸山 博司 (三重)
 京法 峰尾 勝治 (神奈川) 東法 宮代 徹 (茨城) 東經 宮本 貞樹 (長野)
 東北法文 村上 武 (山形) 東北法文 村山 最甫 (岐阜) 東法 望月 福三郎 (神奈川)
 東北法文 森島 翁輝 (栃木) 京經 安田 三千雄 (青森) 東經 梁田 邦治 (兵庫)
 東文 山口 幸之助 (神奈川) ● 山根 史郎 (鳥取) 東北法文 山本 嘉盛 (北海道)
 東文 橫江 勝美 (東京) 東經 橫山 文雄 (青森) 京經 米澤 正雄 (德嶋)
 東法 若林 尙義 (秋田) 東經 脇本 忠信 (廣嶋) 京經 渡邊 脩 (愛知)
 慈惠醫 渡邊 猛 (福嶋) 東法 渡瀬 昌勝 (東京) 京經 內川 榮 (福嶋)

文科 乙類 (二十八名)

東經	石河 四郎 (秋田)	京經	礎部 理輔 (神奈川)	東文	伊藤 虎雄 (福岡)
京法	伊吹 俊夫 (滋賀)	東經	石川 初樹 (兵庫)	京經	内田 榮藏 (神奈川)
京經	宇野 茂夫 (福岡)	東經	寛 旭 (東京)	京經	神野 正勝 (愛知)
東經	嘉屋 正美 (山口)	京法	倉重 高明 (山口)	東文	小林 篤 (埼玉)
東經	光野 斐哉 (奈良)	東經	今野 次郎二 (福岡)	東經	齋藤 俊章 (東京)
東經	進藤 孝三 (東京)	東法	田中 金司 (青森)	東文	田中小一 郎 (青森)
京法	田中 隆規 (山口)	東法	月館 順之助 (青森)	京經	對馬 英一 (北海道)
東法	殿村 一郎 (秋田)	東北法文	島中 精七 (山形)	京經	濱田 勝己 (愛媛)
東經	原 彪 (茨城)	東法	牧野 芳夫 (新潟)	京法	宮崎 武夫 (大阪)
京法	森 正之助 (大阪)	理 科 甲 類	(三十名)	京法	宮崎 武夫 (大阪)
東理	飯坂 五郎 (秋田)	東北工	石部 功 (福岡)	千葉醫	泉川 民治 (秋田)
東北醫	白田 岩太郎 (長野)	東理	小笠原美津雄 (青森)	新醫	小原 富雄 (岩手)

新醫	片桐 保 (北海道)	東北工	加畑 信一 (北海道)	東農	唐澤 威夫 (長野)
東北法文	佐々木 三十郎 (宮城)	新醫	佐々木 進 (秋田)	東農	佐藤 一郎 (青森)
東工	鈴木 鐵雄 (東京)	新醫	佐藤 雄三 (山形)	東北工	柴田 文三 (青森)
東北工	沼形 虎雄 (北海道)	九醫	高木 恭造 (青森)	京工	武田 平七 (青森)
東北工	馬場 狂介 (青森)	東農	橋本 泰 (三重)	京理	長谷川 清吾 (青森)
東工	三橋 宏平 (青森)	東農	彦井彦左衛門 (北海道)	東工	松本 正男 (青森)
東北工	山西 輝雄 (新潟)	新醫	宮川 二郎 (青森)	新醫	柳田 武夫 (茨城)
理 科 乙 類	(二十五名)	東理	山本 時男 (秋田)	新醫	吉崎 祐一 (青森)
千葉醫	犬飼 正 (長野)	新醫	奥田 千秋 (和歌山)	千葉醫	長内 健三 (青森)
千葉醫	小野 軍三 (青森)	東北醫	大野 盛三 (栃木)	九醫	金山 傳次 (富山)
京理	川邊 謙造 (秋田)	東北醫	久米 孝壽 (茨城)	金醫	小林 勇 (三重)
新醫	小泉 五郎 (秋田)	東北醫	佐藤 亮 (福岡)	新醫	武山 賢一 (北海道)

東農 多田 五郎 (東京) 九醫 丹野 四郎治 (宮城) 新醫 椿 山 英一 (千葉)
 千葉醫 筒井 榮 (福岡) 九醫 德谷 武夫 (島根) 新醫 中西 榮 (青森)
 東農 原 治五郎 (茨城) 東北醫 針 谷 順 (茨城) 東北醫 望月 和三郎 (群馬)
 長崎醫 桃井 俊德 (山梨) 湯本 義家 (山梨) 東北醫 渡邊 辰夫 (宮城)

第四回(昭和二年三月)卒業(百七十九名)

文科 甲類 (七十八名)

東農 安保 廣一 (秋田) 京法 明石 洋之助 (秋田) 京經 淺川 英一 (神奈川)
 東經 淺野 武 (茨城) 東法 雨宮 忠治 (山梨) 東文 井口 世雄 (滋賀)
 東北法文 石井 直信 (東京) 京經 石郷岡 猛 (青森) 東北法文 市村 益治郎 (茨城)
 東法 伊 東 勝 (神奈川) 東北法文 井上 文武 (富山) 京經 飯山 清 (神奈川)
 東北法文 池田 千秋 (栃木) 京法 伊藤 昇司 (愛知) 東經 宇佐美 宏 (山形)
 京經 宇都宮 孝 (愛媛) 京經 江守 武雄 (東京) 京法 大野 秀夫 (北海道)
 東文 岡本 成雄 (青森) 東北法文 小田 貫一 (山形) 京文 大郷 一雄 (青森)

東文 加瀬 喜一郎 (千葉) 京理 川 合 光雄 (岐阜) 東經 川 岸 功 (青森)
 京法 菊池 武夫 (新潟) 東經 日下 英雄 (福岡) 東經 黒須 武臣 (東京)
 東經 今野 源八郎 (福岡) 東文 小和田 武紀 (青森) 東北法文 上 二郎 (神奈川)
 東洋大學 齋藤 勝雄 (青森) 京法 阪口 義一 (大阪) 京法 坂 梨 仁 (福岡)
 東經 佐々木 唯遵 (茨城) 京法 齋藤 富士太郎 (岡山) 京經 阪 本 進 (神奈川)
 東文 島田 道男 (秋田) 東法 清水 昌辰 (秋田) 京法 白 石 和夫 (福岡)
 京經 千坂改 鹽澤 高恒 (山形) 東北法文 鈴木 新納 (山形) 京經 須 藤 進 (福岡)
 東法 關 潔 (秋田) 九法文 平井改 副島 保雄 (北海道) 東文 高橋 平作 (栃木)
 京法 田中 芳昌 (京都) 東文 種村 純二 (三重) 京法 田村 順三郎 (新潟)
 東文 田村 文雄 (青森) 京法 田中 一郎 (鹿兒島) 京經 高野 德二郎 (茨城)
 東北法文 長瀬 次郎 (秋田) 京法 中谷 謙二 (東京) 京法 西原 常男 (佐賀)
 東文 阪 尙 敏 (岐阜) 東文 橋本 勝三 (新潟) 東經 長谷川 進 (青森)
 京經 林 和男 (福岡) 東經 久恒 自由 (大分) 京文 平間 莊次 (京都)

東經	平山甫樹 (埼玉)	東文	藤野敬止 (青森)	東經	布施清三郎 (宮城)
東經	船越博 (青森)	東文	堀内雄四郎 (長野)	京法	本間有三 (山形)
東經	松本駿 (千葉)	東北法文	三宅多大 (東京)	東文	宮本章藏 (青森)
京法	皆川健夫 (山梨)	京法	村井盛 (青森)	東文	山口壽 (青森)
京經	山口孝三 (東京)	京法	山下又三郎 (秋田)	京法	山田孝之助 (長崎)
京法	山本正之 (福岡)	東文	和田辰夫 (東京)	京經	渡邊善次郎 (三重)

文科乙類 (三十五名)

東文	阿形龍彰 (静岡)	東經	淺田國太郎 (神奈川)	京經	飯島勝利 (東京)
東經	井口宗明 (福岡)	東北法文	石田弘 (愛知)	東北法文	泉谷清一 (青森)
京法	稻井稔 (鳥取)	京經	井上正之 (東京)	京法	岡市正大 (大阪)
東法	岡本賢三郎 (青森)	京法	大原豊 (秋田)	東文	大野三千右衛門 (福岡)
京法	數井一雄 (北海道)	京法	木村俊象 (宮城)	京法	吳藤恒 (石川)
東文	進藤正勝 (青森)	京法	竹内日英 (富山)	東文	田中清玄 (北海道)

東經	塚本祐太郎 (静岡)	東經	寺田大次郎 (茨城)	東法	門叶宗雄 (秋田)
東文	富永孝一郎 (新潟)	東經	友成誠 (大分)	東法	浪岡真一 (青森)
東法	原博義 (東京)	東北法文	日野勝次郎 (宮城)	東法	松倉英一 (富山)
京法	松本幸三郎 (兵庫)	京法	滿野廣 (愛媛)	東法	水野岩雄 (千葉)
東文	水戸秀郎 (福岡)	京法	宮内菅一郎 (愛媛)	京法	宮崎守一 (東京)
京法	矢尾板羊三郎 (北海道)	京法	横川紀良 (群馬)		

理科甲類 (二十八名)

東農	阿曾村千春 (秋田)	新醫	石田捷午 (秋田)	東北醫	石橋健夫 (福岡)
金醫	岩崎武夫 (新潟)	千葉醫	岩淵武夫 (宮城)	東理	越川幸吉 (三重)
新醫	大江乙彦 (山形)	東北工	大坪龍夫 (滋賀)	京理	大森真直 (東京)
東工	加藤春海 (福岡)	東北工	菊池省吾 (栃木)	長崎醫	北島廣太郎 (秋田)
東理	工藤永藏 (青森)	東工	工藤幸助 (秋田)	東北工	小松止 (福岡)
東工	佐野次夫 (静岡)	東北醫	鹽澤修一 (群馬)	東農	進藤正利 (青森)

- | | | | | | |
|-------------|-------------|-----|-------------|-----|-------------|
| 東北理 | 島崎 光一 (北海道) | 東北理 | 曾我部 憲二 (兵庫) | 東北醫 | 谷 久 (福岡) |
| 新醫 | 坪田 繁樹 (青森) | 東北理 | 東條 六郎 (福岡) | 東北工 | 中村 清七 (栃木) |
| 東農 | 仁田原 耕三 (東京) | 東農 | 根本 七郎 (福岡) | 東北理 | 増田 治雄 (徳島) |
| 京理 | 森 捷平 (静岡) | 京理 | 大泉 重一 (宮城) | 京理 | 大泉 重一 (宮城) |
| 理科乙類 (三十八名) | | | | | |
| 千葉醫 | 會澤 公憲 (茨城) | 東農 | 青木 克 (茨城) | 京城醫 | 熱田 基 (千葉) |
| | 阿部 武四郎 (秋田) | 千葉醫 | 砂金 馨 (青森) | 京城醫 | 井澤 豊三郎 (山形) |
| | 稻見 健一 (茨城) | 金醫 | 内田 救 (茨城) | 東北理 | 大泉 重一 (宮城) |
| 長崎醫 | 太田 泉 (埼玉) | | 金塚 文哉 (茨城) | 京農 | 神谷 桂一 (北海道) |
| | 木村 勇一 (青森) | 東北醫 | 木村 角五郎 (青森) | | 木村 義雄 (青森) |
| 千葉醫 | 近藤 勉三 (東京) | 東北醫 | 佐々木 武昌 (東京) | | 佐藤 喜一郎 (青森) |
| 東醫 | 下澤 剛 (青森) | | 武田 幾之助 (秋田) | 千葉醫 | 土谷 忠夫 (東京) |
| | 照井 三郎 (秋田) | 新醫 | 富塚 松五郎 (宮城) | 東北醫 | 鳥海 順彌 (山形) |

- | | | | | | |
|-----|-------------|-----|------------|-----|--------------|
| 東北醫 | 永澤 正三郎 (青森) | 千葉醫 | 仲野 信司 (山形) | 東北醫 | 中村 茂一 (新潟) |
| 東北醫 | 乗田 正清 (青森) | 東北工 | 平野 昇 (東京) | 東北醫 | 藤井 敬三 (岩手) |
| | 洞口 博武 (宮城) | 千葉醫 | 松葉 巖 (茨城) | 京經 | 松本 五郎 (廣島) |
| 東北醫 | 安田 久 (北海道) | | 安田 豊 (東京) | | 谷地田 勝治 (北海道) |
| | 山本 義一 (秋田) | 新醫 | 吉田 陽作 (新潟) | | |
- 第五回 (昭和三年三月) 卒業 (百七十一名)

文科甲類 (七十七名)

- | | | | | | |
|------|-------------|------|------------|------|--------------|
| 東文 | 赤川 孝一 (岩手) | 京法 | 池田 保生 (東京) | 東文 | 市村 友雄 (栃木) |
| 東文 | 岩澤 清三郎 (青森) | 京經 | 漆野 壽一 (茨城) | | 小野木 勝之 (東京) |
| 東經 | 影山 桓虎 (栃木) | 東北法文 | 楠美 省吾 (青森) | 東北法文 | 越村 安太郎 (北海道) |
| | 西城 一男 (岩手) | | 赤澤 正孝 (香川) | 京法 | 石川 茂 (山形) |
| 東北法文 | 今井 文雄 (宮城) | 東北法文 | 岩淵 剛彦 (岩手) | 東經 | 遠藤 晴夫 (秋田) |
| 東北法文 | 小川 浩 (山形) | 東北法文 | 菊池 京平 (宮城) | 東文 | 黒川 信雄 (山形) |

京法	小嶋 幸彰 (埼玉)	東經	佐々木 毅 (東京)	東文	飯坂 英孔 (青森)
東北法文	石川 史郎 (秋田)	東經	岩越 忠恕 (鳥取)	京法	白田 德樹 (長野)
九法文	大久保 政夫 (青森)	東北法文	小竹 俊夫 (北海道)	東北法文	京道 信一 (宮城)
京法	小泉 多喜男 (岩手)	東文	齋藤 敏彦 (岐阜)	京經	佐々木 三九馬 (青森)
東文	佐瀬 順夫 (北海道)	東北法文	鎮目 信三郎 (神奈川)	東北工	清水 久 (東京)
京經	鈴木 孝 (栃木)	高木 武久 (熊本)		東經	高橋 高三 (茨城)
東北法文	田山 利兵衛 (千葉)	東文	中里 玲 (東京)	東北法文	新堀 宗一 (茨城)
京文	原子 卓爾 (青森)	東北法文	日野 培樹 (東京)	東法	藤井 健次郎 (青森)
京文	佐藤 岩之進 (青森)	東文	芝野 朝彦 (和歌山)	京經	清水 義幸 (三重)
東經	清野 剛 (宮城)	京法	高橋 精 (北海道)	京法	種田 公夫 (東京)
東經	塚本 廣 (福井)	京法	並木 健 (東京)	東經	新堀 直 (茨城)
東文	林 五進 (愛知)	東北法文	平野 啓之 (千葉)	東經	福島 昇 (神奈川)
	佐藤 三勇 (群馬)	澁谷 忠太郎 (熊本)		京法	城 徳次郎 (北海道)

鈴木 辰夫 (静岡)	京法	仙當 薫明 (高知)	高橋 長藏 (秋田)		
東北法文	田村 光雄 (岩手)	東法	苦米地 重男 (青森)	京文	成田 勝太郎 (北海道)
東經	西 富貴雄 (熊本)	京文	反保 光一 (北海道)	京法	福本 英三郎 (神奈川)
東北法文	古木 三郎 (神奈川)	東北法文	丸 茂 督 (長野)	東北法文	宮澤 俊男 (宮城)
東北法文	横山 信一 (静岡)	東文	松浦 英文 (茨城)	京法	三木 幸雄 (兵庫)
東經	森嶋 博愛 (栃木)	京法	吉田 道三郎 (三重)	京法	松本 武男 (北海道)
東北法文	三宅 稔 (山形)	京法	柳瀬 大三 (山形)		

文科 乙類 (三十二名)

安宅 敏郎 (秋田)	東農	飯野 志郎 (栃木)	東北法文	尾坂 俊夫 (青森)	
東經	小林 淳 (秋田)	東農	佐藤 久藏 (宮城)	京文	關 根 敏 (栃木)
京法	千葉 辰藏 (北海道)	京法	阿部 早苗 (岩手)	東北法文	飯淵 信夫 (宮城)
東經	嶋田 宗一 (埼玉)	京法	小林 誠之 (長野)	京經	鈴木 道三郎 (宮城)
東北法文	高橋 祐治 (福島)	東法	内藤 由巳 (福島)		越前 儀一 (秋田)

- | | | | | | |
|----|------------|----|------------|------|------------|
| 京法 | 氏家文一郎 (宮城) | 京法 | 楠美隆之進 (青森) | 東北法文 | 佐々木武平 (青森) |
| 京法 | 瀨川浩 (岩手) | 京法 | 谷口静男 (三重) | 京法 | 西岡博 (廣島) |
| 京法 | 西澤樵夫 (青森) | 京法 | 松波港三郎 (大阪) | 京法 | 村田保 (北海道) |
| 京法 | 山田正 (愛知) | 東經 | 西脇勇 (東京) | 京法 | 増田虎正郎 (兵庫) |
| 京法 | 茂木隆之助 (秋田) | 京法 | 和田秀吉 (青森) | 東北法文 | 橋本俊彦 (福井) |
| 京經 | 三上賢吉 (岩手) | 京法 | 森信太郎 (宮城) | | |
- 理科甲類 (三十二名)
- | | | | | |
|------------|-----|------------|-----|------------|
| 青木卓逸 (栃木) | 北大農 | 五十嵐正身 (秋田) | 東北工 | 今村秀次郎 (青森) |
| 大野信一 (東京) | 東工 | 長利仲清 (青森) | 新醫 | 佐藤一男 (栃木) |
| 四方侃一 (京都) | 東北工 | 明本教成 (青森) | | 伊藤誠爾 (岐阜) |
| 大石琢平 (東京) | 東北理 | 小山内晟三 (青森) | | 片岡直人 (北海道) |
| 佐藤又三郎 (青森) | 東北工 | 高坂清衛 (青森) | 東北工 | 麻井三郎 (鳥取) |
| 井上友喜 (秋田) | | 大塚一三 (青森) | 東工 | 小嶋義正 (神奈川) |

理科乙類 (三十名)

- | | | | | |
|-----------|-----|------------|----|------------|
| 萱田静海 (千葉) | 東農 | 三條國藏 (宮城) | 東農 | 田上眞名 (廣島) |
| 高橋正光 (福島) | 東北工 | 奈良正庸 (青森) | 東農 | 濱崎信太郎 (東京) |
| 松崎龍治 (千葉) | 東北醫 | 高瀬信之 (栃木) | | 鳴海岩雄 (青森) |
| 藤澤鐵男 (宮城) | 京農 | 安田勳 (東京) | | 長澤隆次 (青森) |
| 南部二郎 (富山) | 東北工 | 古木武雄 (北海道) | | |
- 理科乙類 (三十名)
- | | | | | |
|--------------|-----------|------------|------------|-----------|
| 伊藤三郎 (北海道) | 川越義晴 (青森) | 葛原信一 (青森) | | |
| 後藤善治右衛門 (岩手) | 佐野政明 (新潟) | 千葉醫 | 田村利男 (千葉) | |
| 永井澄 (東京) | 北大農 | 岩間龜三郎 (宮城) | 川澄驥七郎 (茨城) | |
| 功刀孝 (山梨) | 千葉醫 | 齋藤壽 (千葉) | 三川六郎 (秋田) | |
| 千葉將喜 (岩手) | 千葉醫 | 仁尾正忠 (高知) | 大澤忠弘 (青森) | |
| 木下正文 (東京) | 新醫 | 小松丙三 (北海道) | 佐藤榮 (宮城) | |
| 關川安正 (千葉) | | 千葉保之 (宮城) | 東北理 | 沼倉元彦 (宮城) |

生徒及卒業生

二七〇

長谷川 八郎 (青森)

金醫

前田 幹 (青森)

東北醫

三浦 恤 (宮城)

濱崎 光平 (福島)

政野 昇 (福井)

京經

水谷 輝 (東京)

菱刈 隆教 (東京)

東北醫

三浦 修 (青森)

北大農

武者 宏作 (宮城)

○敷地及建物

一、敷地

青森縣弘前市大字富田町字富野及青森縣中津輕郡清水村大字富田字名屋場ニ跨リ面積二萬百七十四坪外ニ官舍用敷地千四百五十三坪一二〇アリ

二、建物

所用別	構造	坪數	延建
本館(教室及事務室)	木造 二階建	延建 三七五〇	延建 三七五〇
講堂及玄關	全 平家建	一三六、一四一	一四一
閱覽室	全	七〇	七〇
書庫	鐵筋コンクリート二階建	延建	延建 二五〇
博物教室及實驗室	木造 平家建	地下室 一四、五	延建 六五

敷地及建物

二七一

弓道場	劍道、柔道場	雨天体操場	生徒昇降口	生徒控所及銃器庫	藥品庫	硫化水素室	化學教室及實驗室	蓄電池室	物理教室及實驗室	溫室
全	全	全	全	木造平家建	煉化造平家建	全	全	全	木造平家建	鐵筋硝子張
九	九六	一二〇	一〇	一二六	五	五	一六五	一〇	一六五	一〇

物置	病室	食堂、炊事場、浴室	事務室	寄宿舎	渡り廊下	便所	揚水ポンプ室	倉庫	宿直室及小使室	生徒集會所
木造平家建	全	全	全	木造二階建(六棟)	全	全	全	全	全	木造二階建
				延建					延建	延建
二二	一五	一、九二六七	六二	八四二一八〇〇〇〇	一、二八七	一六	三七五	五五	二二六〇	七三九、八七五〇五

洗面所	全	全(五ヶ所)	延	二二、五
下足場	全	全(三ヶ所)		一二
便所	全	全(七棟)		二八
渡廊下	全			七八
校長官舎	木造	二階建	延建	四四、二五
生徒監官舎	木造	平家建		一四〇
奏任官舎	全	全(六棟)		一九〇、五
判任官舎	全	全(二棟)		三四〇
附屬物置	全	全(九棟)		二二、五
備外國人官舎	全	二階建(二棟)	延建	七四六、一六
附屬物置	全	全(一棟)		八、一六

揚水ポンプ室	全	全(一棟)	延	三、七五〇
弓道場	全	全(全)	全	九、〇〇〇
機關室	周圍鐵筋コンクリート屋根	全(全)	建	二二、七五〇
物置	木造平家建	全	建	一〇、〇〇〇
計			延建	二、九九七、一七二六 三、九四九、一七二六

附 錄

第一條	第二條	第三條	第四條	第五條	第六條	第七條	第八條	第九條	第十條	第十一條	第十二條	第十三條	第十四條	第十五條	第十六條	第十七條	第十八條	第十九條	第二十條	第二十一條	第二十二條	第二十三條	第二十四條	第二十五條	第二十六條	第二十七條	第二十八條	第二十九條	第三十條	第三十一條	第三十二條	第三十三條	第三十四條	第三十五條	第三十六條	第三十七條	第三十八條	第三十九條	第四十條	第四十一條	第四十二條	第四十三條	第四十四條	第四十五條	第四十六條	第四十七條	第四十八條	第四十九條	第五十條	第五十一條	第五十二條	第五十三條	第五十四條	第五十五條	第五十六條	第五十七條	第五十八條	第五十九條	第六十條	第六十一條	第六十二條	第六十三條	第六十四條	第六十五條	第六十六條	第六十七條	第六十八條	第六十九條	第七十條	第七十一條	第七十二條	第七十三條	第七十四條	第七十五條	第七十六條	第七十七條	第七十八條	第七十九條	第八十條	第八十一條	第八十二條	第八十三條	第八十四條	第八十五條	第八十六條	第八十七條	第八十八條	第八十九條	第九十條	第九十一條	第九十二條	第九十三條	第九十四條	第九十五條	第九十六條	第九十七條	第九十八條	第九十九條	第一百條
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------

◇弘前高等學校校友會規則

總 則

第一條 本會ハ弘前高等學校校友會ト稱ス

第二條 本會ハ本校職員生徒和衷協同心身ノ向上ヲ圖リ善良ナル校風ヲ發揚スルヲ目的

トス

第三條 本會會員ヲ分チテ左ノ三種トス

一、特別會員 職員

一、通常會員 生徒

一、贊助會員 本校舊職員及卒業生並役員會ノ推薦ニヨリ會長ノ承認ヲ得タル者

第四條 本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

一、總務部

一、學藝部

校友會規則

校友會規則

- 一、辯論部
- 一、新聞雜誌部
- 一、柔本道部
- 一、劍道部
- 一、弓道部
- 一、野球部
- 一、庭球部
- 一、角力部
- 一、陸上競技部
- 一、旅行部
- 一、スキー部
- 一、蹴球部
- 一、乘馬部

第五條 各部選手ハ其ノ部長ノ推薦ニヨリ會長之ヲ指名ス

役員

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一、會長
- 一、理事
- 一、部長
- 一、會計掛、庶務掛
- 一、代議員
- 一、各部委員

第七條 會長ニ於テ必要ト認ムル時ハ各部委員ノ數ヲ増減スルコトヲ得

會長ハ會務ヲ總理ス

校友會規則

第八條 理事ハ特別會員中ヨリ互選シ會長之ヲ定ム

理事ハ會長ヲ輔ケテ會務ヲ掌理ス

第九條 部長ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス

長ハ其ノ部ノ常務ヲ管理ス

第十條 會計掛及庶務掛ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス部會計掛及庶務掛ハ會長ノ命

ヲ受ケ會計及庶務ヲ分掌ス

第十一條 總務部委員ハ文科、理科各三名ヲ通常會員中ヨリ互選シ會長之ヲ定ム

總務部委員ノ選舉細則ハ別ニ之ヲ定ム

總務部委員ハ本會ノ豫算及ヒ決算ニ關スル事務ヲ分掌シ併セテ會務ノ連絡統一ヲ圖ルモ

ノトス

第十二條 代議員ハ各級通常會員中ヨリ互選シ會長之ヲ定ム

代議員ハ第二學年以上ニアリテハ毎年四月之ヲ定メ第一學年ニアリテハ毎年九月之ヲ定

ム

但第一學年ノ九月以前ニ於ケル代議員ハ各級級長ヲ以テ之ニ充ツ

代議員ハ其級ヲ代表シ役員ニ列ス

第十三條 各部委員ハ總務部ヲ除キ其ノ部長ノ推薦ニヨリ會長之ヲ定ム

委員ハ部長ヲ輔佐シ其ノ部ノ事務ヲ分掌ス

第十四條 理事、部長及各部委員ハ毎年十一月三十日迄ニ之ヲ定メ其ノ任期ヲ一ケ年トス

役員ハ他ノ役員ヲ兼スルコトヲ得ス

第十五條 會員ハ役員ニ委囑又ハ選舉セラレタルトキハ相當ノ事由ナクシテ辭スルコトヲ

得ス

第十六條 役員中關員ヲ生シタルトキハ規定ニ從ヒ會長之ヲ補闕ス

但補闕役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

會議

第十七條 本會規則改正、豫算、臨時收入、支出其他會長ニ於テ重要ト認メタル事項議決

スル爲メ役員會ヲ開ク
代議員ノ半数以上若シクハ各委員ノ半数以上ノ請求アリタルトキハ役員會ヲ開クコト、

第十八條 役員會ハ左ノ役員ヲ以テ組織シ役員會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第十一、會 長

第十二、理 事

第十三、部 員

第十四、總務部委員

第十五、代 議 員

第十六、各部委員

會長ニ於テ必要ト認めタル場合ハ以上ノ外會員ヲシテ出席セシムルコトアルヘシ

會員ハ役員會ヲ傍聽スルコトヲ得

第十九條 凡テ役員會ニ於テ議決シタル事項ハ會長ノ認可ヲ得ヘキモノトス

第二十條 役員會議ハ會議ニ出席スヘキ役員ノ半数以上出席スルニアラサレハ議事ヲ開ク

コトヲ得ス

役員會ニ於テ議決權ヲ有スルモノハ理事各部長、總務部委員一名、各代議員、各部委員

一名トス

第二十一條 出席セル議決權ヲ有スル者ノ二分ノ一以上ノ賛成アルニアラサレハ議決ヲナ

スコトヲ得ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニヨル

會 計

第二十二條 本會會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第二十三條 本會會費ヲ左ノ如ク定ム

一、通常會員ハ一ケ年金十五圓ヲ第一學期八圓、第二學期七圓授業料ト同時ニ納付ス

但休學ニヨリ授業料ヲ免除又ハ半減セラレタル場合ハ徴收セス通常會員ハ入會金

トシヲ入會ノ際前項ノ會費ト共ニ金五圓ヲ納付スヘキモノトス
一、特別會員ハ全体ヨリ年額金五百圓ヲ納付スヘキモノトス

第二十四條 會員ハ會費ノ外會員又ハ會員外ニ對シ寄附ヲ需ムルコトヲ得ス寄附ヲ申出ツルモノアルトキハ會長其ノ受否ヲ決定ス

第二十五條 入會金ノ二分ノ一以上及其ノ預金利子ハ基本金ニ繰入ル、モノトス

第二十六條 豫算ハ理事、總務部々長及總務部委員ニ於テ査定シタル豫算案ニ基キ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ決定ス

第二十七條 各部委員ハ毎年四月三十日マテニ前年度決算書ヲ作成シ部長ノ承認ヲ經テ總務部ニ提出スヘシ

第二十八條 會計細則ハ別ニ之ヲ定ム

總務部委員選舉細則

第一條 總務部委員ハ文科、理科共ニ第二學年生ヨリ二名宛第一學年生ヨリ一名宛ヲ各

科毎ニ選舉スルモノトス

第二條 選舉ハ單記無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

第三條 總務部委員ノ選舉ハ他部委員ノ決定前ニ之ヲ行ヒ投票及開票ノ日時並開票場ハ會長之ヲ定メ五日前ニ公示スルモノトス

第四條 選舉ハ各級教室ニ於テ學級主任監督ノ下ニ所定ノ投票用紙ヲ以テ之ヲ行ヒ學級主任ハ投票ヲ一括シテ總務部長ニ差出スモノトス

第五條 開票ハ特別會員及通常會員中ヨリ臨時ニ會長ノ命シタル若干名ノ開票委員ニヨリテ之ヲ行フ得票同數ナルトキハ年長者ヲ以テ當選トス

會計細則

第一條 本會會計ハ會長之ヲ統轄ス

第二條 本會ノ出納ニ關スル諸般ノ事務ハ會計係之ヲ掌ル

第三條 各部會計ハ部長之ヲ監督ス

第四條 會費、入會金、預金利息及寄附金等ヲ收入トシ一切ノ支拂ヲ支出トス
第五條 收入豫算ハ之ヲ會費、入會金、預金利息及臨時收入ノ各項ニ分ツ
第六條 支出豫算ハ之ヲ左ノ項ニ分ツ

一、各部費

一、對外試合費

一、豫備費

第七條 豫備費ハ支出金額ノ百分ノ五以上トシ避クヘカラサル豫算ノ不足及ヒ豫算外ノ支途ニ充ツ

豫備費ヲ支出セントスルトキハ會長之ヲ決ス

第八條 各部ハ翌年度ノ豫定經費ヲ十二月二十日迄ニ部長ヲ經テ總務部ニ提出スヘシ

第九條 物件購入又ハ修繕セントスルトキハ各都委員ハ所定ノ請求傳票ニ必要事項ヲ記入シ部長ノ檢印ヲ得テ會計係ニ差出スモノトス

會計係ハ前項ノ請求傳票ヲ接受シタルトキハ直ニ購入又ハ修繕ヲナシ之ヲ請求者ニ交付

スヘシ

第十條 旅費其ノ他前拂ヲ要スルモノハ事情ヲ具シテ前條ノ手續ヲナスヘシ

第十一條 前二條ノ規定ニ依ラスシテ物件ノ購入、修繕其ノ他ノ契約ヲナシタルトキハ當事者ノ責任ニ歸シ本會ハ一切之カ支拂ヲナサス

第十二條 會計掛ノ管理スル帳簿類左ノ如シ

一、豫算差引簿

一、現金出納簿

一、備品臺帳

一、支出明細簿

第十三條 各部ノ管理スル帳簿類左ノ如シ

一、豫算明細簿

一、備品明細簿

一、物品購入簿

校友會規則

第十四條 決算書ニハ經費豫算額及ビ支出額ヲ明記スヘシ

第十五條 本會ノ決算書ハ總務部ニ於テ監査ヲ了シタル後會計掛之ヲ總括シ會長ノ承認ヲ經テ適宜全會員ニ公示スヘシ

會員ハ會計ニ關スル帳簿ヲ閱覽スルコトヲ得

第十六條 會長ハ役員中ヨリ若干名ノ會計検査員ヲ命シ毎年一回以上各部ノ會計ヲ検査セシム

前項検査ノ結果ハ之ヲ會長ニ報告スヘシ

第十七條 會計掛ハ豫算額及ビ支出額ノ明細ヲ明記シ、且、會計掛ノ事務ヲ執行スルニ當リ、必要ノ書類ヲ保存スルコトヲ得

昭和三年十一月十五日印刷
昭和三年十一月二十日發行

(非賣品)

弘前高等學校

弘前市富田大通り三丁目

印刷所 土田印刷所

283
44



